アフターコロナにおける明石～岩屋航路の交流人口の拡大と航路利便性向上による航路確保維持調査

令和６年３月

国土交通省 神戸運輸監理部

表紙ウラ

目　　次

１．はじめに 1
1.1　調査の目的 1
1.2　調査概要 1
1.3　調査体制 3
２．令和５年度調査の概要 4
2.1　令和５年度調査の実施方針 4
（1）令和４年度調査の概要 4
（2）令和５年度調査の実施方針 5
（3）1day 切符の概要 8
2.2　当該航路に関する情報発信状況の把握 10
（1）令和４年度調査の振り返り 10
（2）1day 切符に関する情報発信状況の案内情報の把握 11
３．航路の高付加価値化の社会実験の取組 12
3.1　社会実験の取り組み内容 12
（1）1day 切符への特典付加の取り組み 12
（2）特典付 1day 切符の PR による航路の認知度向上の取り組み 12
3.2　社会実験期間中の 1day 切符の利用状況 20
（1）1day 切符の販売枚数 20
（2）販売枚数の過年度比較 20
3.3　社会実験期間中のその他の利用状況 21
（1）航路利用者数 21
（2）協力施設における特典サービスの利用者数 21
４．1day 切符利用者アンケート調査結果 22
4.1　アンケート調査の調査目的・調査方法 22
4.2　アンケート調査結果 25
（1）獲得サンプル数 25
（2）回答者の属性 25
（3）観光行動の状況 27
（4）特典付き 1day 切符の評価・活用状況 29
（5）淡路島の観光全般に対する意見 34
５．航路利用者アンケート調査結果 35
5.1　アンケート調査の調査目的・調査方法 35
5.2　アンケート調査結果 38
（1）調査日の状況 38
（2）調査対象と注意事項 39
（3）回答者の属性 40

（4）行動の状況 42
（5）特典付き 1day 切符について 48
（6）自由意見について 51
5.3　淡路北部地域への来訪者全体からみた分析 53
（1）分析にあたって 53
（2）基礎データの整理・考察 53
（3）来訪者全体からみた分析 55
６．社会実験の効果検証 57
6.1　社会実験の取組の効果検証 57
（1）交流人口の拡大に関する検証 57
（2）航路の認知度向上の検証 58
（3）特典付き 1day 切符の満足度検証 60
（4）取組の協力体制等の検証 63
（5）社会実験全般に関する検証 66
6.2　高付加価値化の改善方策の提案 68
（1）社会実験から得た知見からの提案 68
（2）活性化方策の進捗状況の整理 70
（3）高付加価値化の改善方策の提案 71
７．総括 74
7.1　明石～岩屋航路の高付加価値化の社会実験の検証 74
（1）当該航路に関する情報発信状況 74
（2）1day 切符販売状況 74
（3）社会実験の取組に関する検証 74
（4）高付加価値化の改善方策の提案 75
7.2　今後の明石～岩屋航路の確保・維持に向けて 76
（1）航路の確保・維持に向けた基本認識 76
（2）航路の活性化方策の推進方向 76

１．はじめに

1.1　調査の目的

兵庫県明石市と淡路市を旅客船で結ぶ明石～岩屋航路は、主として淡路島から通勤・通学・買い物等で本土へ通う生活航路として利用されているが、島内人口の減少でこれらの利用者が減少していたところ、コロナの影響により、厳しい状況となっている。

一方、コロナ禍において観光トレンドが変化し、淡路島は自然豊かな密を避けられる観光地として人気を博しているほか、近年、岩屋港近辺の淡路島北部地域において魅力的な観光施設の開設が相次ぎ、多数の観光客が明石海峡大橋を渡って訪れている。

このような状況の中、淡路島北部地域の観光の魅力向上と地域の生活利便性の向上に貢献できるよう、公共交通としての航路の確保・維持を図ることを目的として、令和４年度、自治体、交通事業者及び地域関係者と連携し、「アフターコロナを見据えた明石～岩屋航路の新たな活性化策を探る調査」（以下「令和４年度調査」という。）を実施、航路活性化に向けた具体的な方策をとりまとめ、実現可能性の高いものとして、航路利用による観光航路としての魅力創出が示された。

上記提言を踏まえ、今年度、観光航路としての魅力を創出する高付加価値化の社会実験を期間限定で実施し、淡路島北部地域への交流人口の拡大を図ることで公共交通としての航路の維持・確保に繋げることを目的に実施した。

1.2　調査概要

令和４年度調査を踏まえ、以下の調査等を実施した。

①当該航路に関する情報発信状況及び「花・食巡り 1day 切符」（以下「1day 切符」という。）の概要整理

取組の検討材料とするため、以下の各事項を整理し、現状を明らかにした。

ア）当該航路に関する情報発信状況

・web サイトにおける情報発信状況

・旅客ターミナル周辺における情報発信状況

岩屋港、明石港、その他周辺施設等

イ）1day 切符の概要

・1day 切符の基礎情報（料金、様式、販売箇所等）

・販売実績、利用状況等

②明石～岩屋航路の高付加価値化の社会実験

当該航路を使った淡路島北部地域との交流人口の拡大のため、以下の 1day 切符を用いた航路の高付加価値化の社会実験を行った。

ア）航路の魅力向上

・1day 切符に観光施設等の特典等を付加し、航路の魅力向上を図った。

イ）航路の認知度向上

・効果的な航路の情報発信に向けた取組を行った。

・航路の認知度向上にかかるポスター・チラシ等を作成し、広告宣伝活動、販売促進活動を行った。

③社会実験の効果検証

②で行った社会実験の効果検証のため、1day 切符利用者に対するアンケート調査を実施し、結果を分析・整理の上、高付加価値化の改善に向けた課題を抽出した。

【1day 切符利用者アンケート調査】

・実施期間：令和 5 年 12 月 1 日(金）～令和 6 年 1 月 31 日(水)
・実施場所：明石港、岩屋港
・調査項目：利用者属性その他有用な項目
・実施手段：紙、電子媒体
・結果分析・整理・課題等抽出：アンケート結果を整理・分析し、分析結果に基づき、当該取組が、どのような効果をもたらしたか、さらなる効果を得るための課題を明らかにした。

④明石～岩屋航路の交流人口の拡大及び航路利便性の向上への方策検討

①②③及び令和 4 年度調査を踏まえ、明石～岩屋航路における今後の交流人口の拡大及び航路利便性向上への方策を検討した。

また、上記方策の検討の参考とするため、航路利用者等へのアンケート調査を行った。

【航路利用者アンケート調査】

・実施期間：令和 5 年 12 月 9 日(土)
・実施場所：岩屋港
・調査項目：利用者属性その他有用な項目
・実施手段：紙、電子媒体
・結果分析・整理・課題等抽出：アンケート結果を整理・分析し、分析結果に基づき、観光行動等を把握し、方策検討の参考とした。

1.3 調査体制

本調査は、交通事業者、関係自治体・国等で構成される「調査検討委員会」を設置し、実施した。

アフターコロナにおける明石～岩屋航路の交流人口の拡大と
航路利便性向上による航路確保維持調査検討委員会
委員名簿

《委　員》

喜多　秀行　神戸大学 名誉教授
清水　紀晶　株式会社淡路ジェノバライン 取締役副社長
鎌田　勝義　ジョイポート淡路島株式会社 代表取締役社長
小村　浩二　株式会社パソナグループ CPU 総本部 執行役員
近江　啓　　株式会社夢舞台 業務推進部 部長
福浦　泰穂　一般社団法人 淡路島観光協会 事務局長
冨岡　直樹　淡路市商工会 経営支援課 課長
山内　斉　　兵庫県 淡路県民局 洲本土木事務所 所長補佐
箙　　好文　淡路市 都市整備部 都市総務課 課長
俵　　満広　神戸運輸監理部 総務企画部 海事交通計画調整官

《オブザーバー》

磯部　圭市　本四海峡バス株式会社 運輸部 副部長
西田　考樹　明石市 都市局 都市整備室 都市総務課 調整担当課長
土谷　理恵　神戸運輸監理部 海事振興部 旅客課長
田中　康嗣　神戸運輸監理部 兵庫陸運部 首席運輸企画専門官

《事務局》

吉村　裕行　神戸運輸監理部 総務企画部 企画課長
半田　英也　神戸運輸監理部 総務企画部 企画課長補佐
多田　洋希　神戸運輸監理部 総務企画部 企画課員
後藤　正明　株式会社シティプランニング

２．令和５年度調査の概要

2.1　令和５年度調査の実施方針

（1）令和４年度調査の概要

①調査の背景と目的

・生活航路としての**明石～岩屋航路の利用者の減少（島内人口の減少、コロナの影響）**

・**一方で、観光トレンドの変化と観光施設の充実により観光地として人気上昇。**

・上記を背景に、公共交通としての航路の確保・維持を図ることを目的として調査を実施。

②調査結果（提言）

・令和４年度調査では、下表の提言をとりまとめた。今後、提言の中の「**本検討委員会メンバーが積極的に取組やすく、取組優先度の高い活性化方策を中心にその具体化を検討**」との方針を提示した。

表２－１　令和４年度調査における明石～岩屋航路の活性化方策の提言

基本方針	活性化の方向性	活性化方策
(1)明石～岩屋航路の選択可能性の向上	①明石～岩屋航路の認知度向上	**〇観光施設や宿泊施設における航路情報の発信・充実** **〇自治体・観光協会・商工会における航路情報の発信・充実** 〇淡路島の公共交通検索システムの導入 〇SNS などを活用した情報発信
	②明石～岩屋航路ホームページの情報充実	**〇航路の魅力を伝える情報の発信** **〇岩屋 PT からの観光地へのアクセス情報の発信** 〇明石港周辺の観光地情報の発信
	③イベントや GW 等の多客期における航路利用の促進	〇高速道路の渋滞が予想される GW 等の多客期における航路利用の促進
(2)明石～岩屋航路の“観光航路”としての魅力の創出	①“観光航路”としての魅力の創出	**〇淡路島北部地域の観光施設との連携** 〇観光案内の船内放送の実施
	②航路利用による特典の充実	**〇淡路島側での特典充実** 〇明石側での特典充実
	③ツアーにおける航路利用の促進	〇航路(既存ダイヤ)を利用したツアーの創出
(3)岩屋ＰＴ発着バスの利便性向上	①岩屋 PT 発着バスの案内情報の改善	**〇バス発着場所、バス路線の案内充実** 〇明石港における岩屋 PT 発着バスの案内
	②岩屋 PT 発着バスの運行改善等	〇岩屋 PT 発着バスの運行ダイヤの見直し
(4)明石～岩屋航路の利便性の向上	①運賃支払い方法の見直し･改善	〇IC カード、電子マネー等の取り扱い改善
	②運航ダイヤの見直し･改善	〇明石～岩屋航路の増便 〇自転車・バイクの積み残し防止
	③明石港の待合室の整備改善	〇待合室の整備改善
(5)明石～岩屋航路と高速バスの連携強化	①航路と高速バス利用のモデルコースの設定	〇航路と高速バスを利用するモデルコースの設定

※活性化方策欄の**赤文字**は、本検討委員会メンバーが積極的に取組やすく、取組優先度の高い活性化方策と考えられる方策を示す。

（2）令和５年度調査の実施方針

①基本的な考え方

・令和４年度の提言を踏まえ、検討委員会メンバーを中心とした地域の関係者が連携して取組を推進していくための仕組みづくりを行い、以下に示す３つの視点から相互に協力し役割分担を図りながら、活性化方策を一つ一つ実現していくことが必要である。

視点１　令和４年度調査からの継続業務
視点２　生活を支える公共交通として明石～岩屋航路の活性化策を検討
視点３　検討委員会メンバー等との連携を念頭に置いた施策検討

②実施方針の設定

・本検討委員会メンバーが積極的に取組やすく、取組優先度の高い活性化方策と考えられる方策を、本調査事業としての取組の妥当性から検討を行った。

・その結果、下表に示すように、
「(2)-① 淡路島北部地域の観光施設との連携」
「(2)-② 淡路島側での特典充実」
の２つの施策を実施して行くことが望ましいと判断した。

表２－２　本調査事業としての取組の妥当性の検討

分類	取組優先度の高い活性化方策	評価	本調査事業としての取組の妥当性
(1)-① 明石～岩屋航路の認知度向上	○観光施設や宿泊施設における航路情報の発信・充実	B	・基本的には、各施設で行っていただく取組である。
	○自治体・観光協会・商工会における航路情報の発信・充実	B	・基本的には、各団体で行っていただく取組である。
(1)-② 明石～岩屋航路ホームページの情報充実	○航路の魅力を伝える情報の発信	B	・基本的には、旅客船事業者で行っていただく取組である。
	○岩屋 PT からの観光地へのアクセス情報の発信	B	・基本的には、旅客船事業者で行っていただく取組である。
(2)-① 観光航路としての魅力の創出	**○淡路島北部地域の観光施設との連携**	A	**・検討委員会メンバーの連携により実現可能な取組である。** **・旅客船事業者、コミバス、淡路島北部地域観光施設の集客が見込まれ取組効果が大きいと思われる。**
(2)-② 航路利用による特典の充実	**○淡路島側での特典充実**	A	**・検討委員会メンバーの連携により、実現可能な取組である。** **・旅客船事業者、コミバス、淡路島北部地域観光施設の集客が見込まれ取組効果が大きいと思われる。**
(3)-① 岩屋ＰＴ発着バスの案内情報の改善	○バス発着場所、バス路線の案内充実	C	・基本的に、自治体・観光協会・バス事業者が連携して行っていただく取組である。

③高付加価値化の社会実験

・「(2)-① 淡路島北部地域の観光施設との連携」と「(2)-② 淡路島側での特典充実」の２つの施策の実施にあたっては、本調査事業の予算および調査期間等の制約条件を考慮して、既存のセット券である 1day 切符を活用するのが現実性のある取組となると考えた。

・具体的には、**「1day 切符への特典付加」と「特典付 1day 切符の PR を通じた航路の認知度向上」の２つの取組**による明石～岩屋航路の高付加価値化の社会実験を実施することとした。

・社会実験の実施時期は、①閑散期における交流人口の確保、②本業務のスケジュール（年内に中間報告、年度末に報告書作成）を考慮し設定した。

・この取組により、

①航路の認知度の向上

②観光航路としての魅力向上・利便性向上

③交流人口の拡大に伴う航路の維持・確保

④取組推進の仕組みづくりの構築

の４項目の進捗に寄与するものと期待される。

＜令和５年度の明石～岩屋航路の活性化方策への取組と期待される効果＞

【明石～岩屋航路の高付加価値化の社会実験】

取組１：1day 切符への特典付加
○飲食・お土産などの割引特典の付加

取組２：特典付 1day 切符の PR を通じた航路の認知度向上
○チラシ・ポスター等の配布、各ホームページ上での掲載
○1day 切符の関する情報（料金等）の修正、など

高付加価値化方策への取組により期待される効果	
①航路の認知度の向上	・1day 切符を用いた高付加価値化社会実験の PR（チラシ・ポスター等の設置、各ホームページ上での掲載）が上手く機能することにより航路全体の認知度向上が期待される。
②観光航路としての魅力向上･利便性向上	・1day 切符への特典（飲食・お土産割引等）付加により、航路の魅力向上が図られる。 ・効果検証の結果を踏まえた改善策を講じることにより、観光航路としての魅力・利便性向上、特に航路・バス・観光地の連携が図られることが期待される。
③交流人口の拡大に伴う航路の維持･確保	・上記の①～②の効果に伴い、航路利用による淡路島北部地域の交流人口の拡大が図られ、航路の維持・確保への効果が期待される。
④取組推進の仕組みづくりの構築	・1day 切符への特典付加を核として、検討委員会のメンバーや関係者が、それぞれが特典や情報発信といった高付加価値化で取り組めることを委員会で検討し、役割を議論しながら、取組を推進する仕組みづくりの構築に繋がることが期待される。

＜令和５年度の高付加価値化の社会実験の概要＞

①取り組み目的

・令和４年度にとりまとめた「明石～岩屋航路活性化方策」のうち、実現可能性の高いものとして「淡路島北部地域の観光施設との連携」及び「淡路島側での特典充実」を提示。

・令和５年度は、上記を踏まえた航路の高付加価値化の社会実験を実施し、効果検証と改善方策を検討し、交流人口拡大を図る。

②取り組み概要

・高付加価値化の社会実験として、1day 切符の魅力向上と航路の認知度向上を図るため、次の２つの取り組みを実施。

【取組１】1day 切符への特典付加

【取組２】特典付 1day 切符のＰＲ

③効果検証の方法

・２つの取組の効果検証を行うため、「1day 切符の利用者アンケート調査」と「航路利用者アンケート調査(於：岩屋港)」を実施。

・これらのアンケート調査結果と、社会実験期間中の航路利用者数、協力施設利用者数、協力施設からの意見・要望などから社会実験の効果検証を実施。

④改善方策提案の考え方

・社会実験から得た知見を活かし、「交流人口の拡大」と「航路の認知度向上」の視点から、今後の高付加価値化の改善方策を提案。

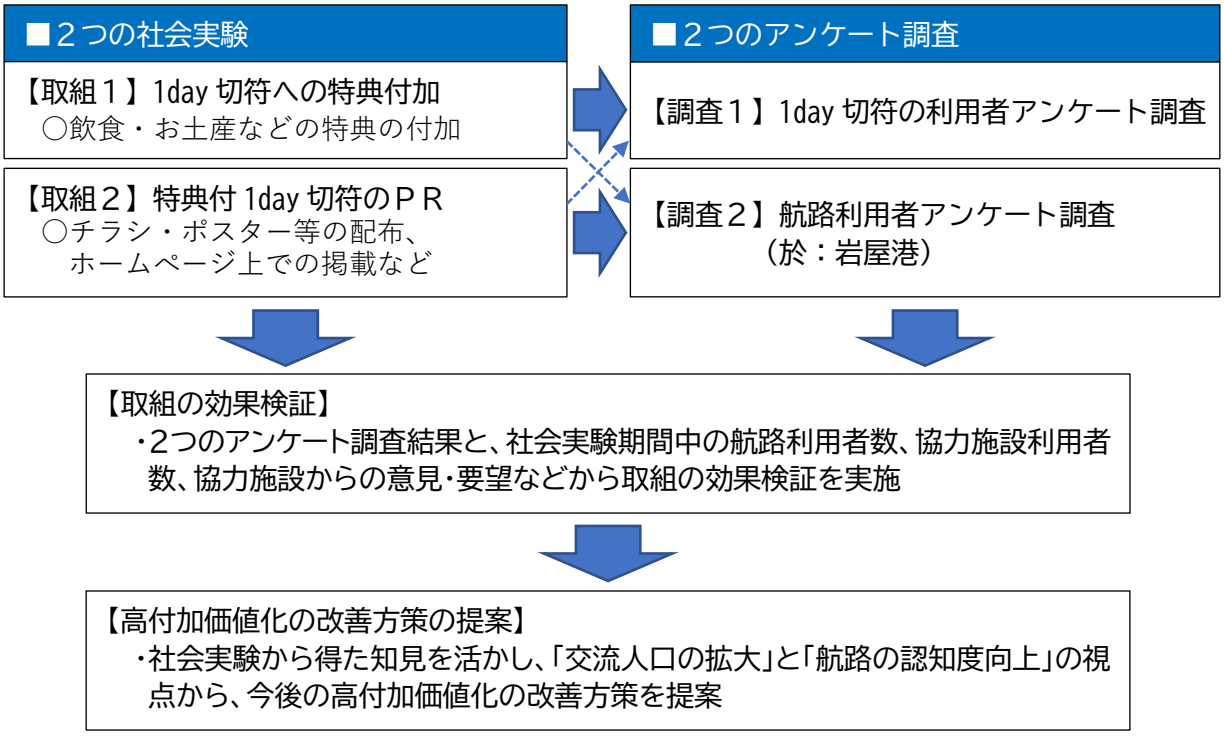


図２－１　社会実験の効果検証方法と改善方策の提案に至る流れ

(3) 1day 切符の概要

①1day 切符の料金、様式、デザイン等

・1day 切符は、高速船&あわ神あわ姫バス１日乗り放題セット乗車券で、ジェノバラインの明石営業所にて販売している。

・料金は、大人 1,540 円、小児 770 円（令和５年４月改定）で、通常価格の３割引となっている。

【通常料金】大人：高速船　600 円×２＝1,200 円

バス１日乗り放題券	1,000 円
合計	2,200 円

※あわ神あわ姫バス１日乗り放題券は、バス車内または本四海峡バス㈱東浦乗車券発売所にて販売している。

・1day 切符は紙券で、淡路ジェノバライン(往券)、あわ神あわ姫バス１日乗り放題券、淡路ジェノバライン(復券)が、順番にちぎれる形式となっている。

図２－２　1day 切符の様式、デザイン

②1day 切符の販売実績

・近年の 1day 切符の販売枚数の推移をみると、令和 3 (2021)年度は 578 枚（大人 531 枚、小人・身体障がい 47 枚）で 48 枚/月、令和 4 (2022)年度は 989 枚（大人 924 枚、小人・身体障がい 65 枚）で 82 枚/月、令和 5 (2023)年度は 1 月末までで 1,076 枚（大人 1,007 枚、小人・身体障がい 69 枚）で 110 枚/月となっている。新型コロナ禍の影響が弱まり、販売枚数は年々上がってきている。

・月別にみると、各年度とも冬期の 12 月～2 月までの 3 か月間は販売枚数が減少する傾向にあり、乗船券の販売枚数と比較しても 1day 切符の販売枚数の減少は顕著となっている。

・この要因としては、あわ神あわ姫バスの北部観光周遊回り、南部観光周遊回りが 3 月春分の日から 11 月文化の日までの休日（土曜・日曜・祝日）のみの運行であることが考えられる。

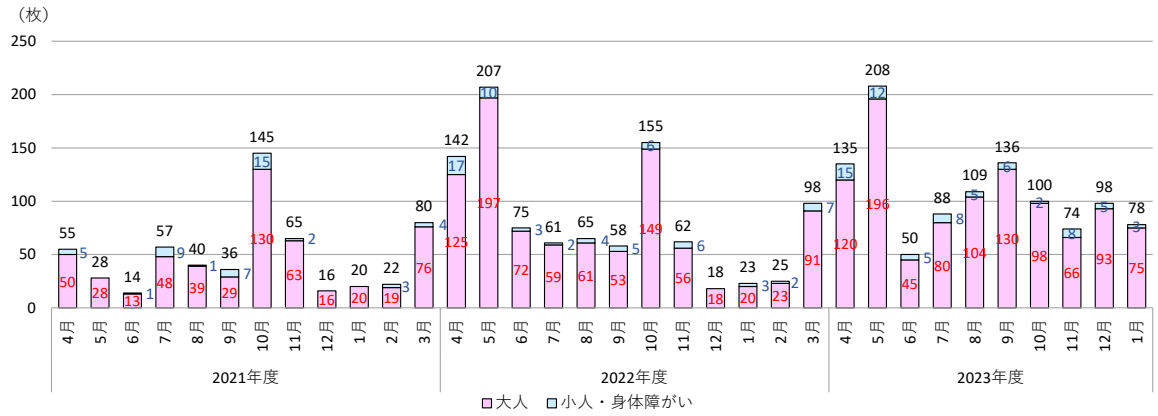


図２－３　1day 切符の販売枚数の推移

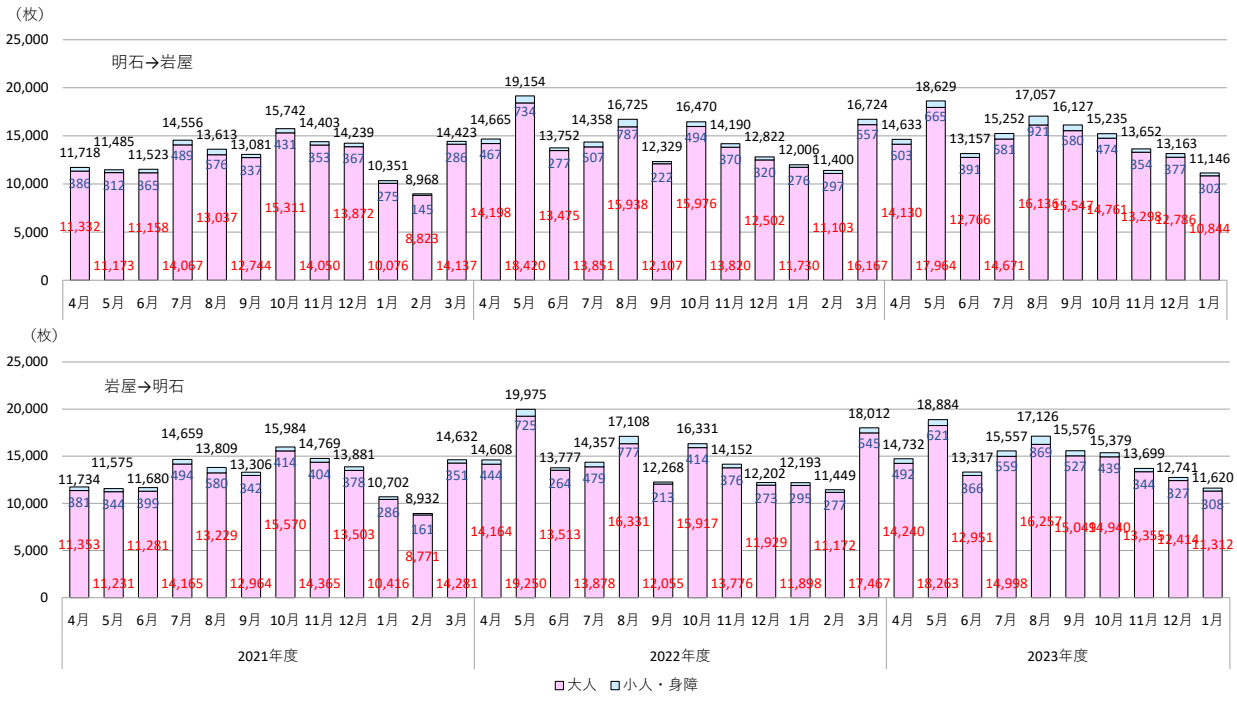


図２－４　明石～岩屋航路の乗船券の販売枚数の推移

2.2　当該航路に関する情報発信状況の把握

(1) 令和４年度調査の振り返り

・観光客が淡路島を訪れる際に参考とする情報媒体（web サイト等）において、利用者に当該航路がどのように情報発信されているかを調査し、その調査結果から明石～岩屋航路の情報発信における課題を抽出した。

・この結果、「淡路島への移動手段は主として高速バスが案内されている。」、「明石～岩屋航路があることを知らないと、航路案内にアクセスできない。」ことが課題として抽出した。

＜明石～岩屋航路の情報発信についての課題（令和４年度調査より）＞

○多くの web サイトでは、淡路島の観光スポットやモデルコースの紹介など様々な観光案内を行っているが、**淡路島への移動手段としては主として高速バスが案内されており、明石～岩屋航路利用のアクセスルートの案内は少ない**。

○観光などで本州から淡路島に渡る場合、**「明石～岩屋航路があることを知らないと、航路案内にアクセスできない。」ことが最大の課題**である。

表２－３　当該航路に関する情報発信状況

web サイト	web 情報の特徴・問題点等
①「淡路島　観光」で検索した場合に出てくる web サイト	・淡路島の人気スポット、【公式】淡路島観光ガイド・あわじナビ、【2022 年】淡路島で人気の観光・お出かけスポット 30 選、淡路島の「見る・食べる・遊ぶ」観光スポット 31 選などが検索される。 ・これらでは、アクセス案内があるが、明石～岩屋航路を経由するアクセス方法は示されていない。
② 一般社団法人淡路島観光協会、淡路市商工会など関係団体の web サイト	◆一般社団法人淡路島観光協会のホームページ ・モデルコース「北部エリア　バス旅編」の旅の締めくくりとして明石～岩屋航路が紹介されている。 ◆淡路市商工会のホームページ ・モデルコースの案内があるが、何れも本州から淡路島へのアクセスルートは高速バス利用で、明石～岩屋航路を経由するアクセスルートは示されていない。
③ 明石～岩屋航路の web サイト	・明石～岩屋航路の淡路ジェノバラインのホームページには、画面トップに検索時点における出発便（先発、次発）が示されるなど工夫がされている。また、時刻表と料金、乗場案内、船舶紹介の項目があり、分かりやすい構成となっている。 ※令和５年度：トップページに「ジェノバ観光」を追加。おすすめ旅行として「淡路島日帰り・天然温泉＋ミニ会席」を案内。
④ Google マップの経路案内	・明石～岩屋航路を経由するアクセスルートは、出発時刻、到着時刻、出発地、到着地の条件が整い、他の経路と比較可能な所要時間、料金、乗換回数となる場合は提示されるが、多くの場合は運行本数の多い高速バスを利用するアクセスルートが案内されることが多い。
⑤ 旅行関連の web サイト	・「JTB」と「じゃらん」の予約サイトは、いずれもアクセス方法の案内は、「高速バス」となっている。 ・旅行関連の web サイトで航路の認知度を高めるためには、宿泊施設側に明石～岩屋航路経由ルートを掲載してもらう必要がある。

（2）1day 切符に関する情報発信状況の案内情報の把握

・1day 切符を、たとえば「花・食巡りきっぷ」で Google 検索すると、下記のような検索結果が表示される。1day 切符の料金が改訂前の 1,400 円や 1,440 円など古い情報が上段に表示されている。

・正しい最新情報は、淡路ジェノバラインのホームページの「HOME」画面に記載されているが、「時刻表と料金」画面には記載されていない。

図２－５　Google「花・食巡りきっぷ」検索

３．航路の高付加価値化の社会実験の取組

3.1　社会実験の取り組み内容

（1）1day 切符への特典付加の取り組み

・令和 4 年度調査で示された「明石～岩屋航路活性化方策」のうち、観光客にとって利便性の高い 1day 切符への特典付加によって切符の魅力向上を図ることで、

①淡路ジェノバライン及びあわ神・あわ姫バスの利用者を増加させ、公共交通の確保・維持に繋げる。

②特典付加にご協力いただける観光施設、宿泊施設、飲食店等（以下「協力施設」という。）をはじめとした淡路島北部地域への観光客を増加させる。

ことを目的として、次の取組を実施した。

【取り組み概要】

・「1 day 切符」を「協力施設」で提示すれば、特典サービスが受けられる運用方式。
・特典サービスの協力店舗は、46 店舗。
・航路の認知度を向上させるため、ポスター、**チラシやホームページ、SNS 等で航路及び取り組みの情報発信を強化**（【取組 2】と連動）。
・社会実験の実施時期は、①閑散期における交流人口の確保、②本業務のスケジュール（年度末に報告書作成）を考慮し、12 月 1 日～1 月 31 日の 2 か月間で実施。

（2）特典付 1day 切符の PR による航路の認知度向上の取り組み

①チラシ・ポスター等の掲示、ホームページ上での掲載

【チラシ・ポスター】

・社会実験期間中、特典付 1day 切符の宣伝媒体としてチラシ・ポスターを作成、掲示し、特典付 1day 切符と明石～岩屋航路の認知度向上を目指した。
・チラシ・ポスターは、明石港・岩屋港を始め、人目につきやすい観光案内所や淡路島北部地域の主要観光地に配布する（印刷枚数：チラシ 4,000 部、ポスター70 部）とともに、これら各施設の web サイトで情報発信した。

【ＰＯＰ広告】

・特典付 1day 切符を販売する淡路ジェノバライン明石営業所での購入促進を図るため、明石港の券売機に目立ちやすい POP 広告をつけた。

②1day 切符の料金に関する情報修正

・社会実験開始に先立ち、現在の 1day 切符の料金(1,540 円)に関する情報の修正を関係団体に依頼した（1day 切符の料金については、変更前の 1,400 円、1,440 円となっている情報が散見されたため)。

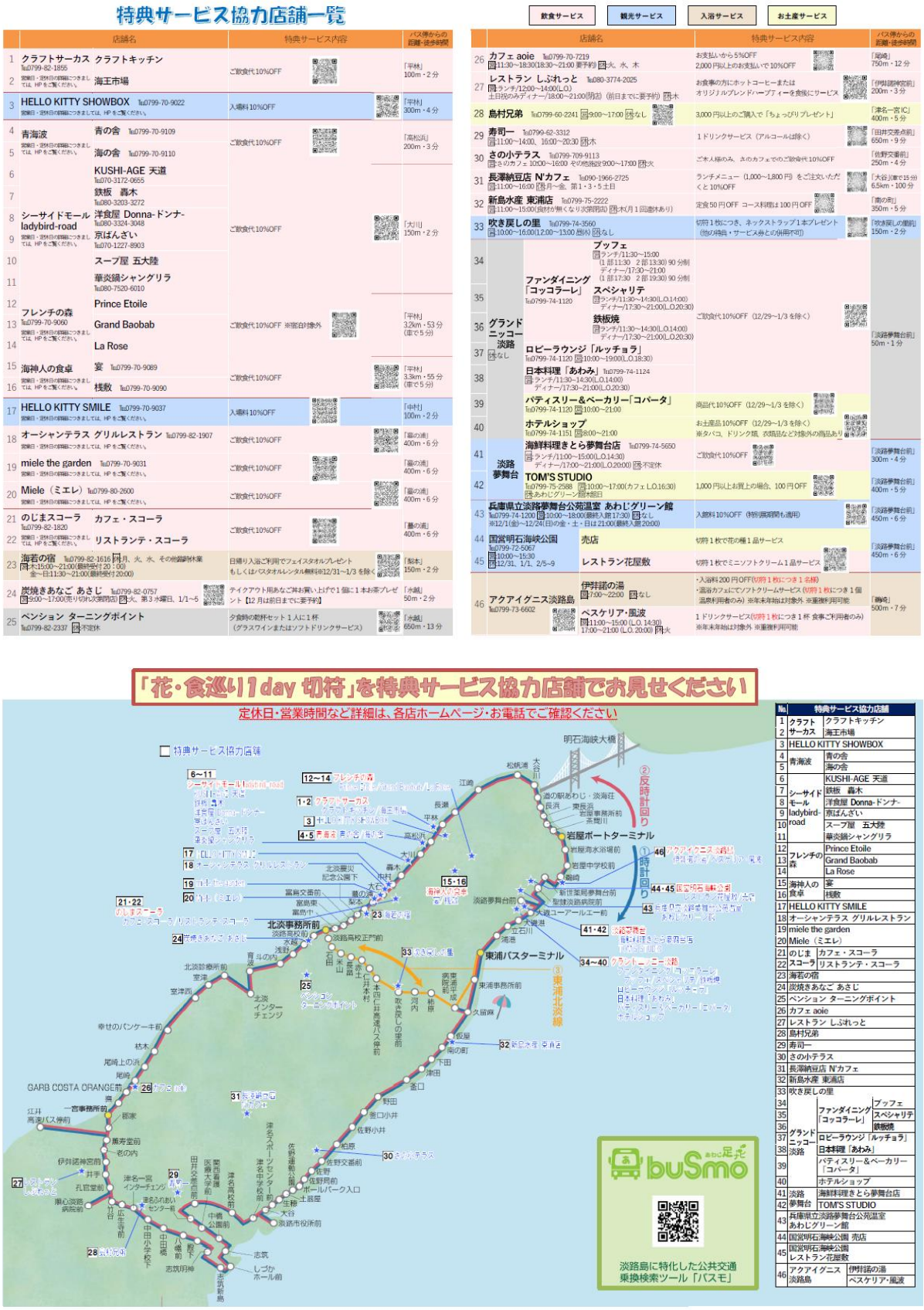


図３－１　特典サービス協力店舗一覧（原版は A3 判両面印刷）

図３－２　チラシ・ポスターのデザイン

①明石駅前のポスター

②明石港におけるポスター

（入口ドア）

（待合室）

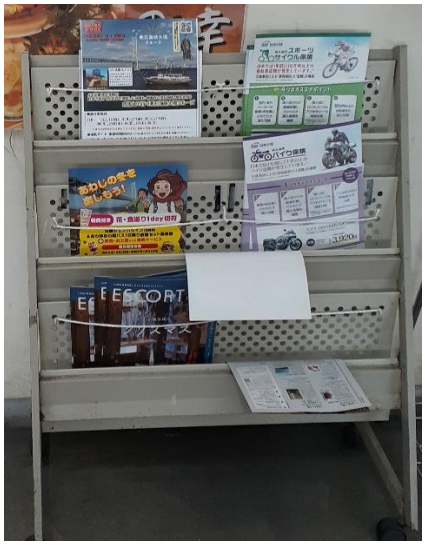
（のりば付近）

（のりば付近）

図３－３　情報発信の取組状況（ポスター・チラシ等）

（チラシのラック）

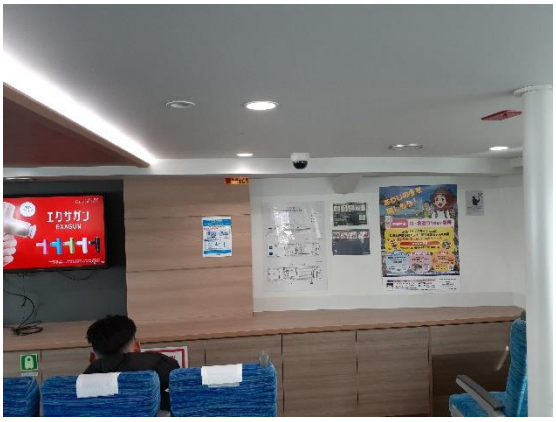
（拡大図）



③券売機の POP 広告

（のりば付近）

④船内におけるポスター



⑤岩屋港におけるポスター

図３－４　情報発信の取組状況（例示）

①株式会社淡路ジェノバライン　http://www.jenova-line.co.jp/

お得な 花・食巡り1day切符『あわ神あわ姫バス』
高速船&あわ神あわ姫バス１日乗り放題セット乗車券

TPICS ジェノバラインからのお知らせ

※[定期券について] 紛失した、家に忘れた等、乗船時に定期をお持ちでない方は切符の購入をお願い致します。

※定期券購入の皆様へ

2023年11月24日：NEW【特典付き】花･食巡り切符

2023年09月21日：【10/7～10/9】増便ダイヤのお知らせ

お得な『あわ神あわ姫バス』1day切符

お得な『花・食巡り１day切符』
高速船& あわ神あわ姫バス　１日乗り放題セット乗車券（令和5年4月改定） 明石営業所にて好評発売中

大人　⇒ **1,540**円
小児　⇒ **770**円

【期間限定】飲食・お土産などの特典サービス
令和5年12月1日(金)～令和6年1月31日(水)販売
→ 詳細PDFはこちら
→ 特典サービス協力店舗はこちら

②本四海峡バス株式会社　http://www.honshi-bus.co.jp

社会実験における企画切符の特典付与について

いつも本四海峡バスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

下記の期間におきまして、現在淡路ジェノバラインの窓口で発売しております「花･食巡り1day切符」について、「飲食･お土産などの特典サービス」を追加した切符を期間限定で発売いたします。

社会実験の期間中のみの発売となりますので、この機会にぜひ淡路島にお越しください。

特典付き「花･食巡り1day切符」 発売期間
2023年12月1日（金） ～ 2024年1月31日（水）

料金
大人 1,540円　小児／障がい者 770円

発売場所
淡路ジェノバライン 明石営業所（明石港）

お問い合わせ先
淡路ジェノバライン 明石営業所 078-918-2411

詳しくはコチラのチラシをご確認ください。

③淡路市商工会　https://sci-awaji.jp/

④株式会社夢舞台　https://www.yumebutai.co.jp/

期間限定・特典付き！「花・食巡り1day切符」

淡路ジェノバライン（高速船）と あわ神あわ姫バス1日乗り放題がセットとなった「花・食巡り1day切符」に、期間限定で、淡路島内の各協力店舗にてご利用出来る特典サービスが付きました。航路利用者の増加を検証する社会実験（企画：国土交通省神戸運輸監理部）としての実施になります。船とバスを使ってお得に冬の淡路島をお楽しみください！

社会実験実施期間 ：2023年12月1日（金）～2024年1月31日（水）
花・食巡り1day切符　販売額
：大人1,540円　小人・障がい者770円
（通常料金 大人2,200円　小人・障がい者1,100円）

★グランドニッコー淡路 レストラン・ショップ各店、テラスレストラン＆ショップ各店、淡路夢舞台公苑温室「あわじグリーン館」は、特典サービス協力店舗です。ご利用お待ちしております！

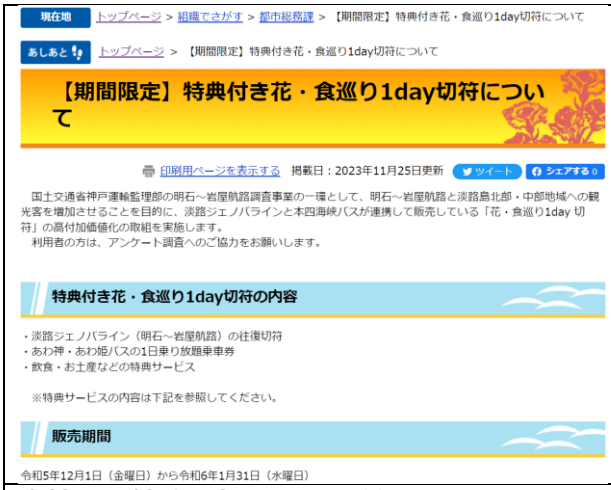
詳しくはこちら（チラシPDF）
特典サービス協力店舗一覧はこちら（PDF）

⑤淡路市　https://www.city.awaji.lg.jp/

新着情報

- 淡路市制20周年記念キャッチフレーズを大募集（2023年11月6日更新）
- 第107回淡路市議会定例会　一般質問、質疑について（11月29日現在） NEW
  （2023年11月29日更新）
- 淡路島内求人情報　11月28日付 NEW
  （2023年11月28日更新）
- 淡路市子育て学習センターについて NEW
  （2023年11月27日更新）
- 「年末の交通事故防止運動」が実施されます NEW （2023年11月27日更新）
- 【期間限定】特典付き花・食巡り1day切符について NEW （2023年11月25日更新）
- 第107回淡路市議会定例会　議事日程（11月24日現在） NEW
  （2023年11月24日更新）
- 第107回淡路市議会定例会　議案の内容について　（11月24日現在） NEW
  （2023年11月24日更新）

新着情報のRSS
新着更新情報の一覧を見る



現在地 トップページ > 組織でさがす > 都市総務課 > 【期間限定】特典付き花・食巡り1day切符について

あしあと トップページ > 【期間限定】特典付き花・食巡り1day切符について

【期間限定】特典付き花・食巡り1day切符について

印刷用ページを表示する　掲載日：2023年11月25日更新　ツイート　シェアする 0

国土交通省神戸運輸監理部の明石～岩屋航路調査事業の一環として、明石～岩屋航路と淡路島北部・中部地域への観光客を増加させることを目的に、淡路ジェノバラインと本四海峡バスが連携して販売している「花・食巡り1day 切符」の高付加価値化の取組を実施します。
利用者の方は、アンケート調査へのご協力をお願いします。

特典付き花・食巡り1day切符の内容

・淡路ジェノバライン（明石～岩屋航路）の往復切符
・あわ神・あわ姫バスの1日乗り放題乗車券
・飲食・お土産などの特典サービス

※特典サービスの内容は下記を参照してください。

販売期間

令和5年12月1日（金曜日）から令和6年1月31日（水曜日）

⑥神戸運輸監理部　https://wwwtb.mlit.go.jp/kobe/index.html

報道発表資料　一覧

2023年11月28日　『造船業・舶用工業経営技術セミナー』を開催します　～人を“惹きつける”取り組みを紹介～

2023年11月24日　船とバスを使ってお得に冬の淡路島を楽しもう～期間限定で「花・食巡り1day切符」に特典サービスを付加します～

2023年11月21日　「めざせ！海技者セミナー IN KOBE」を開催します

2023年11月13日　「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催します

2023年11月13日　～STOP！ THE 不正改造～　六甲山において夜間街頭検査を実施しました

船とバスを使ってお得に冬の淡路島を楽しもう～期間限定で「花・食巡り1day切符」に特典サービスを付加します～

印刷用ページ

神戸運輸監理部では、明石～岩屋航路の利用者を増加させ、航路活性化を図るための調査事業を行っており、昨年度、航路活性化のための方策を取りまとめました。
今般、12月1日（金曜日）～1月31日（水曜日）の期間限定で、「花・食巡り1day切符※」に、島内協力店舗の特典サービスを付加し、航路利用者の増加を検証する社会実験を実施します。
※花・食巡り1day切符：船（明石港～岩屋港）の往復券とあわ神あわ姫バス一日乗り放題券がセットとなった切符

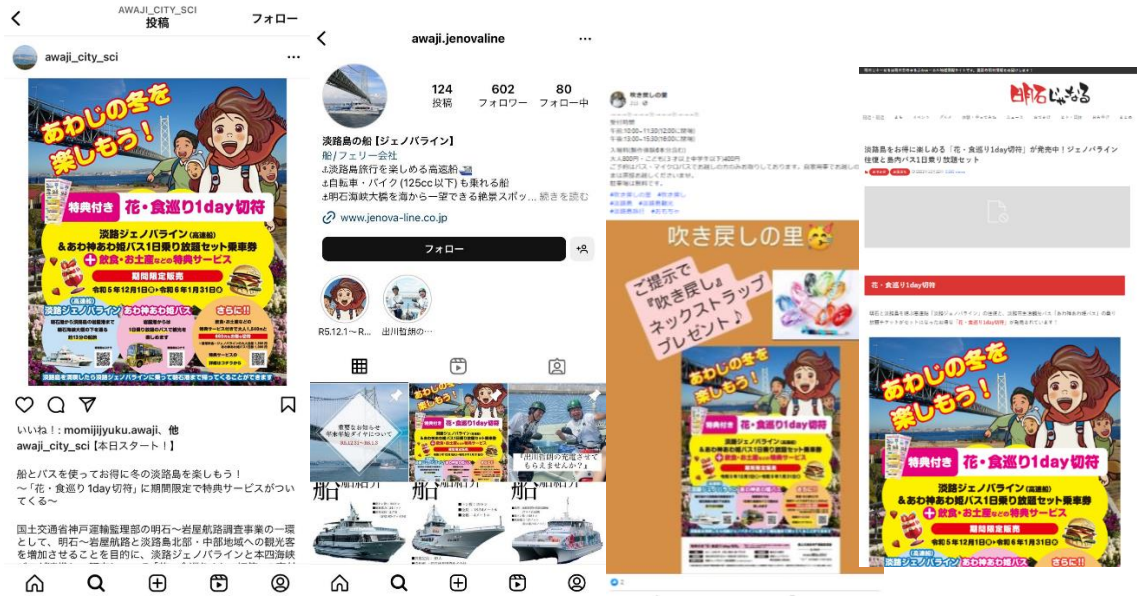
詳細は、以下報道発表資料をご覧ください。

報道発表資料：PDF版　Word版

特典サービス協力店舗一覧：PDF版　Word版

花・食巡り1day切符チラシ：PDF版

⑦その他（SNS など）



3.2　社会実験期間中の 1day 切符の利用状況

(1) 1day 切符の販売枚数

・1day 切符販売枚数は、12 月 1 日から 1 月 31 日までで 176 枚（大人：168 枚、小人・身体障がい者：８枚）となった。

表３－１　1day 切符の販売枚数

月	大人	小人・身体障がい者	合計
12 月	93 枚	5 枚	98 枚
1 月	75 枚	3 枚	78 枚
合計	168 枚	8 枚	176 枚

(2) 販売枚数の過年度比較

・過年度の 12 月～1 月の 1day 切符販売枚数をみると、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和 3 年度は 36 枚（大人：36 枚、小人・身体障がい者：０枚)、令和 4 年度は 41 枚（大人：38 枚、小人・身体障がい者：３枚）にとどまった。

・今年度は 176 枚と令和 3 年度の 4.9 倍、令和 4 年度の 4.3 倍と大幅な増加となった。

表３－２　1day 切符の販売枚数の過年度比較

	販売枚数	12 月	1 月	12～1 月計	4~1 月
令和 3 年度	大人	16	20	36	436
	小人・身体障がい者	0	0	0	40
	合計	16	20	36	476
令和 4 年度	大人	18	20	38	810
	小人・身体障がい者	0	3	3	56
	合計	18	23	41	866
令和 5 年度	大人	93	75	168	1,007
	小人・身体障がい者	5	3	8	69
	合計	98	78	176	1,076

3.3　社会実験期間中のその他の利用状況

（1）航路利用者数

・令和 4 年度の 12 月~1 月と令和 5 年度の 12 月～1 月の航路利用者数を比較すると、令和 5 年は旅客総数 92,889 人と令和 4 年の 95,106 人から微減となっている。

・内訳をみると、定期券利用者の減少が影響しており、定期券外の旅客数は令和 4 年の 48,642 人から 628 人とわずかに減少し 48,014 人となっている。

表３－３　明石～岩屋航路の乗船券の販売枚数の推移

	令和4年度（12月～1月）	令和5年度（12月～1月）	増減数	増減割合
①旅客総数	95,106	92,889	-2,217	0.98
②うち定期券利用者数	46,464	44,875	-1,589	0.97
③バイク	951	1,062	111	1.12
④自転車	1,911	1,809	-102	0.95
⑤定期券外（①－②）	48,642	48,014	-628	0.99

（2）協力施設における特典サービスの利用者数

・協力施設ヒアリングにより把握した特典サービスの利用者数については、30 店舗から回答があった。このうち特典サービスの利用があった店舗は 6 店舗で、利用者数は 25 人となっている。

・なお、1day 切符利用者アンケート調査においては、特典サービス利用者数は 30 人となっている。この利用者数の相違の原因としては、すべての協力施設から回答を得られなかったことが考えられる。

表３－４　協力施設における特典サービスの利用者数

単位:人

	1.飲食店	2.土産店	3.観光施設	4.その他	合計
店舗A			8		8
店舗B	6				6
店舗C		5			5
店舗D	4				4
店舗E		1			1
店舗F	1				1
合計	11	6	8	0	25

４．1day 切符利用者アンケート調査結果

4.1　アンケート調査の調査目的・調査方法

・1day 切符の利用者アンケート調査は、下表に示す調査目的、調査方法等で実施した。

表４－１　1day 切符の利用者アンケート調査

【調査1】1day 切符の利用者アンケート調査	
調査目的 調査視点	【目的】1day 切符利用者の属性、情報入手方法、特典サービス利用の有無、満足度等を把握する。 【視点】高付加価値化が、どのような効果をもたらしたか。
調査方法	①調査方法・調査対象 ・1day 切符利用者を対象とするアンケート調査。 ②調査時期 ・社会実験期間の 12 月 1 日～1 月 31 日の 2 か月 ③調査票の配布・回収 【配布】淡路ジェノバライン明石営業所（明石港）で 1day 切符購入者に、アンケート調査票を手渡しする。 【回収】淡路ジェノバラインの岩屋港窓口または郵送で回収する。 回答者の利便性・回収率の向上を図るため、紙媒体以外に二次元コードを活用した WEB での回答も可能とした。 なお、二次元コード付ステッカーも配布。 ※回収率を上げるため、回答者に粗品をプレゼント。
調査項目	①属性について ・性別、年齢、住所、淡路島への来訪回数 ②1day 切符について ・1day 切符に関する情報入手方法（チラシ・ポスター・HP 等の効果把握） ・1day 切符の利便性、改善点など ③1day 切符の特典について ・特典の利活用状況、特典の改善点など
主な分析検証項目	・特典付与の満足度（特典の利用状況などより検証） ・航路情報の伝達効果（1day 切符の購入に至る情報取得の分析） ・淡路島観光の満足度（観光行動の分析の検証）

図４－１　ステッカー

図４－２　回答者用の粗品

特典付き花・食巡り 1day 切符に関するアンケート調査

国土交通省神戸運輸監理部では、観光などの利用による明石～岩屋航路の活性化を図るための調査事業を行っており、調査の一環として、今般、「特典付き花・食巡り 1day 切符」に関するアンケートを実施します。

つきましては、ご協力をよろしくお願いします。ご記入いただいたアンケート票は、１月３１日（水）までに投函をお願いします。

なお、回答は個別に公表することはありません。また、個人情報は厳格に管理し、この調査の分析以外には一切使用しません。

本アンケートは、株式会社シティプランニングに委託して実施しています。

調査主体：国土交通省神戸運輸監理部
受託事業者：株式会社シティプランニング

※本アンケートは、左記の二次元コードから WEB 上のアンケート調査票にアクセスしていただくことで、パソコンやスマートフォンからもご回答いただけます。ご活用ください。

質　問	回　答　欄
（A）淡路島の観光についてお聞きします	
問１　今回は、どの観光地を訪問されましたか？（複数回答可）	1. 道の駅あわじ・松帆アンカレイジパーク 2. 淡路島国営明石海峡公園 3. 淡路夢舞台　　4. 北淡震災記念公園 5. 伊弉諾神宮　　6. 本福寺 7. 道の駅東浦ターミナルパーク 8. HELLO KITTY SMILE　　9. のじまスコーラ 10. 吹き戻しの里 11. 幸せのパンケーキ 12. シーサイドモール 13. その他（　　）
問２　今回の特典付き花・食巡り 1day 切符を使った旅に満足しましたか？	1. 満足　→満足の理由を選んでください 2. 少し満足　→満足と不満の理由を選んでください 3. 少し不満　→満足と不満の理由を選んでください 4. 不満　　→不満の理由を選んでください （満足の理由）（複数回答可） 1. 船旅が良かった 2. バス旅が良かった 3. 特典が良かった 4. その他（　　） （不満足の理由）（複数回答可） 1. １日では短い 2. 特典参加施設に行くのが不便 3. 船とバスの接続が不便 4. その他（　　）
（B）特典付き花・食巡り 1day 切符についてお聞きします	
問３　特典付き花・食巡り 1day 切符の販売は、どこでお知りになりましたか。 （○はいくつでも）	1. 明石港の切符販売所 2. 淡路島内の観光施設のチラシ・ポスター 3. その他施設のチラシ・ポスター 4. 旅客船事業者（淡路ｼﾞｪﾉﾊﾞﾗｲﾝ）のホームページ・SNS（X・Instagram・Facebook など） 5. 淡路島観光協会・淡路市商工会のホームページ 6. 淡路島内の観光施設のホームページ 7. その他のホームページやＳＮＳの記事 8. 新聞等の記事 9. 友人や知人からのロコミ 10. その他（　　）

質　問	回　答　欄
問４　特典付き花・食巡り 1day 切符は、通常 2,200 円のところを 1,540 円としています。この料金については、どのように思われますか。（○は一つだけ）	1. 料金が割引になり良かった 2. もう少し割引がある方が良かった （割引額：＿＿＿＿＿円）
問５　特典サービスを利用されましたか。	1. 利用した → 問６へ 2. 利用しなかった → 問７へ
問６　特典サービスを利用された方にお聞きします。利用した店舗はどの種別ですか。（複数回答可）	1. 飲食店 2. 土産店 3. 観光施設 4. その他（　　）
問７　特典サービスを利用されなかった方にお聞きします。利用されなかった主な理由をお聞かせください。	1. 利用したい特典サービスがなかった 2. 利用したかったが、利用する時間がなかった 3. 利用したかったが、店舗の場所が分からなかった 4. その他（　　）
問８　淡路島島内では、予定どおり移動できましたか。	1. 予定通り移動できた 2. ほぼ予定通り移動できた 3. 予定通り移動できないところがあった 4. ほとんど予定通りに移動できなかった 5. その他（　　）
問９　特典付き花・食巡り 1day 切符の改善点がありましたら、お答えください。（購入方法、料金、使い方、付加してほしい特典、など）	（　　）
（C）ご自身のことについてお尋ねします	
問１０ （１）性別は？	1. 男性　　2. 女性　　3. 無回答
（２）年齢は？	1. 10 歳代　2. 20 歳代　3. 30 歳代　4. 40 歳代 5. 50 歳代　6. 60 歳代　7. 70 歳代　8. 80 歳以上
（３）ご住所は？	1. 兵庫県内→（　　）市町 2. 兵庫県外→（　　）都道府県
（４）淡路島に来られたのは何回目ですか。	1. 今回が初めて　2. 2～4 回　　3. 5 回以上
（D）その他	
問１１　淡路島の観光全般に対するご意見・改善が必要と思われる点等がございましたら、お知らせ下さい。	（　　）

※ご協力ありがとうございました。このアンケート票は、岩屋港の窓口（営業終了時間は１９時まで）にお渡しください。もしくは、同封の返信用封筒でご送付いただきますようお願い申し上げます。

※なお、お礼の粗品は、花・食巡り 1day 切符販売日の当日に限り、岩屋港の窓口（営業終了時間は１９時まで）でお渡しいたします。

4.2　アンケート調査結果

(1) 獲得サンプル数

・1day 切符の利用者アンケート調査は、獲得サンプル数 82 件（うち WEB 回答は 13 件)、回収率は 47%（＝82 人÷176 枚）となった。

表４－２　1day 切符利用者アンケート調査の獲得サンプル数

	サンプル数	回収率	備考
アンケート回答計	82 票	47%	・販売枚数は大人 168 枚、小人・身体障がい者 8 枚の合計 176 枚
紙回答	69 票		
WEB 回答	13 票		

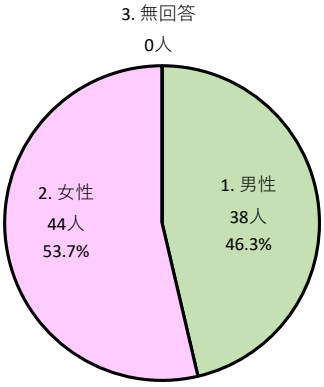
※回収したアンケート票のうち、全問白紙回答のアンケート票は省く。

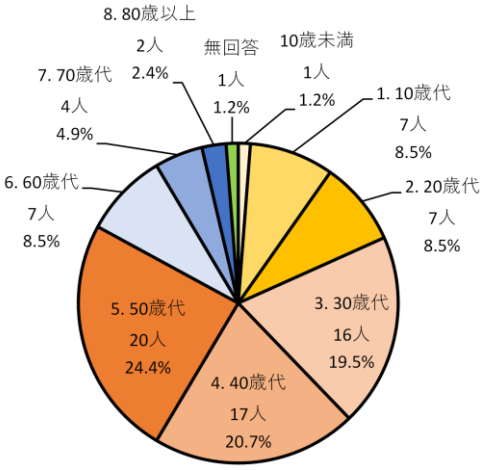
(2) 回答者の属性

①性別･年齢(問 10)

(C)ご自身のことについてお尋ねします
問 10 (1)性別は？　(2)年齢は

・回答者は男性 46%、女性 54%で、年齢構成は 50 歳代が 24%と最も多く、次いで 40 歳代の 21%、30 歳の 20%となっている。





	男性	女性	無回答	合計
10歳未満	0	1	0	1
1. 10歳代	3	4	0	7
2. 20歳代	2	5	0	7
3. 30歳代	9	7	0	16
4. 40歳代	8	9	0	17
5. 50歳代	11	9	0	20
6. 60歳代	4	3	0	7
7. 70歳代	1	3	0	4
8. 80歳以上	0	2	0	2
無回答	0	1	0	1
合計	38	44	0	82

※選択肢にはないが、「10 歳未満」との回答があったため追加。

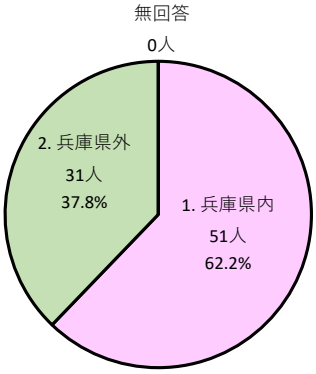
図４－３　回答者の性別・年齢構成

② 居住地(問 10)

問 10 (3)ご住所は？

・回答者の 62%が兵庫県内の居住者で、明石市、神戸市、加古川市の居住者が多かった。

・兵庫県外では、大阪府や京都府の近畿圏からの来訪者のほか、東京都や海外からの来訪者もいた。



		回答者数	割合
兵庫県	神戸市	11	13.4%
	姫路市	2	2.4%
	尼崎市	1	1.2%
	明石市	24	29.3%
	洲本市	1	1.2%
	加古川市	6	7.3%
	三木市	1	1.2%
	高砂市	1	1.2%
	川西市	1	1.2%
	加古郡播磨町	2	2.4%
	兵庫県 市区町村不明	1	1.2%
兵庫県外	北海道	1	1.2%
	千葉県	1	1.2%
	東京都	4	4.9%
	神奈川県	4	4.9%
	京都府	4	4.9%
	大阪府	11	13.4%
	奈良県	2	2.4%
	和歌山県	1	1.2%
	広島県	1	1.2%
	フランス	1	1.2%
	居住地不明	1	1.2%
合計		82	100.0%

図４－４　回答者の居住地

③淡路島への来訪回数(問 10)

問 10 (4)淡路島に来られたのは何回目ですか。

・回答者の 55%が「5 回以上」と回答、次いで「2～4 回」が 22%、「今回が初めて」が 21%となっている。

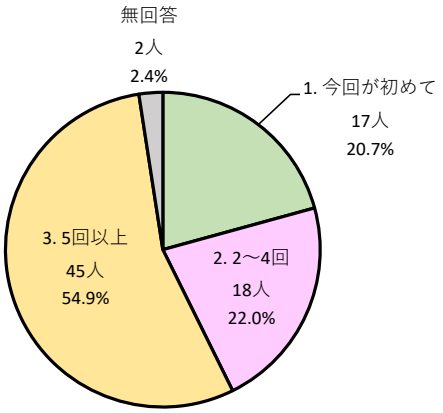


図４－５　淡路島への来訪回数

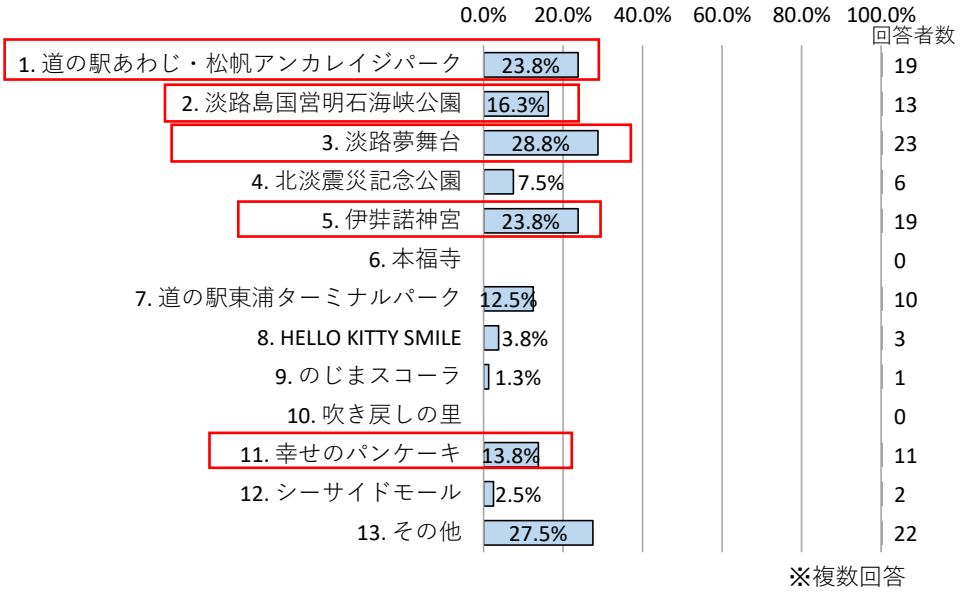
(3) 観光行動の状況

① 観光の目的地(問 1)

(A)淡路島の観光についてお聞きします
問 1　今回は、どの観光地を訪問されましたか？(複数回答可)

・「淡路夢舞台」が 23 人(29%)、「道の駅あわじ・松帆アンカレイジパーク」と「伊弉諾神宮」が 19 人(24%)、「淡路島国営明石海峡公園」が 13 人(16%)、「幸せのパンケーキ」が 11 人(14%)の順となっている。

・あわ神あわ姫バスが連絡し、バンバンバスや無料シャトルバスが連絡していない「淡路夢舞台」、「伊弉諾神宮」や「幸せのパンケーキ」などへの訪問者が多い。



「13. その他」の内訳

	回答者数	割合
クラフトサーカス	2	9.1%
アート山大石可久也美術館	2	9.1%
美湯松帆の郷	3	13.6%
兵庫県立淡路島公園	2	9.1%
兵庫県立淡路佐野運動公園	2	9.1%
淡路ハイウェイオアシス	1	4.5%
GARB COSTA ORANGE(レストラン)	1	4.5%
さの小テラス	1	4.5%
Ladybird Road（レディバードロード）	1	4.5%
ニジゲンノモリ	2	9.1%
千年一酒造	2	9.1%
淡路市役所	1	4.5%
事業者訪問	1	4.5%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

図４－６　観光の目的地

② 旅の満足度(問 2)

問2　今回の特典付き花・食巡り 1day 切符を使った旅に満足しましたか？

・回答者の 63%が「満足」、26%が「少し満足」と回答しており、約 9 割が今回の旅に満足している。

・「満足」の理由としては、79%が「船旅が良かった」と回答しており、明石～岩屋航路そのものが旅を満足させる要因となっている。また、「バス旅が良かった」も 57%と、満足度が高かった。

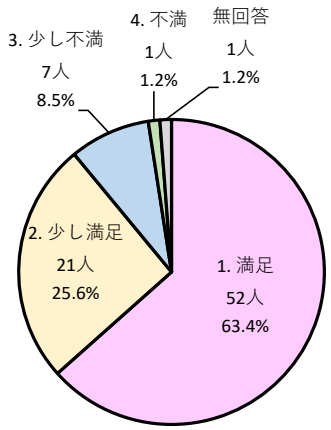


図４－７　観光の旅の満足度

表４－３　満足の理由

（満足の理由）　対象数：80

	回答者数	割合
1. 船旅が良かった	49	79.0%
2. バス旅が良かった	35	56.5%
3. 特典が良かった	10	16.1%
4. その他	4	6.5%
合計	98	158.1%
回答者数	62	100.0%
無回答	18	

※複数回答

「4.その他」の内訳

	回答者数
夕日が見られた。	1
綴りのチケットが便利だったため。	1
安くなってうれしかった。	1
非日常感とお得感が味わえて満足できた。	1
合計	4

表４－４　不満の理由

（不満足の理由）　対象数：29

	回答者数	割合
1. １日では短い	2	8.3%
2. 特典参加施設に行くのが不便	6	25.0%
3. 船とバスの接続が不便	14	58.3%
4. その他	7	29.2%
合計	29	120.8%
回答者数	24	100.0%
無回答	5	

※複数回答

「4.その他」の内訳

	回答者数
バスの便数が少ない。	3
バスは時間がかかる。	1
花さじきに運行していなかった。	1
割引券が回収されたから。	1
バスに乗った時に、外の景色がラッピングで見れなかった。	1
合計	7

(4) 特典付き 1day 切符の評価・活用状況

① 特典付き 1day 切符の情報取得(問 3)

(B)特典付き花・食巡り 1day 切符についてお聞きします
問3　特典付き花・食巡り 1day 切符の販売は、どこでお知りになりましたか。(複数回答可)

・回答者の 40%が「明石港の切符販売所」としており、切符を購入する直前に特典付き 1day 切符を知ったことが分かる。

・その他では、「その他のホームページや SNS の記事」が 21%、「旅客事業者(淡路ジェノバライン)のホームページ・SNS」が 17%と回答しており、ネット上で特典付き 1day 切符の情報を得ている。

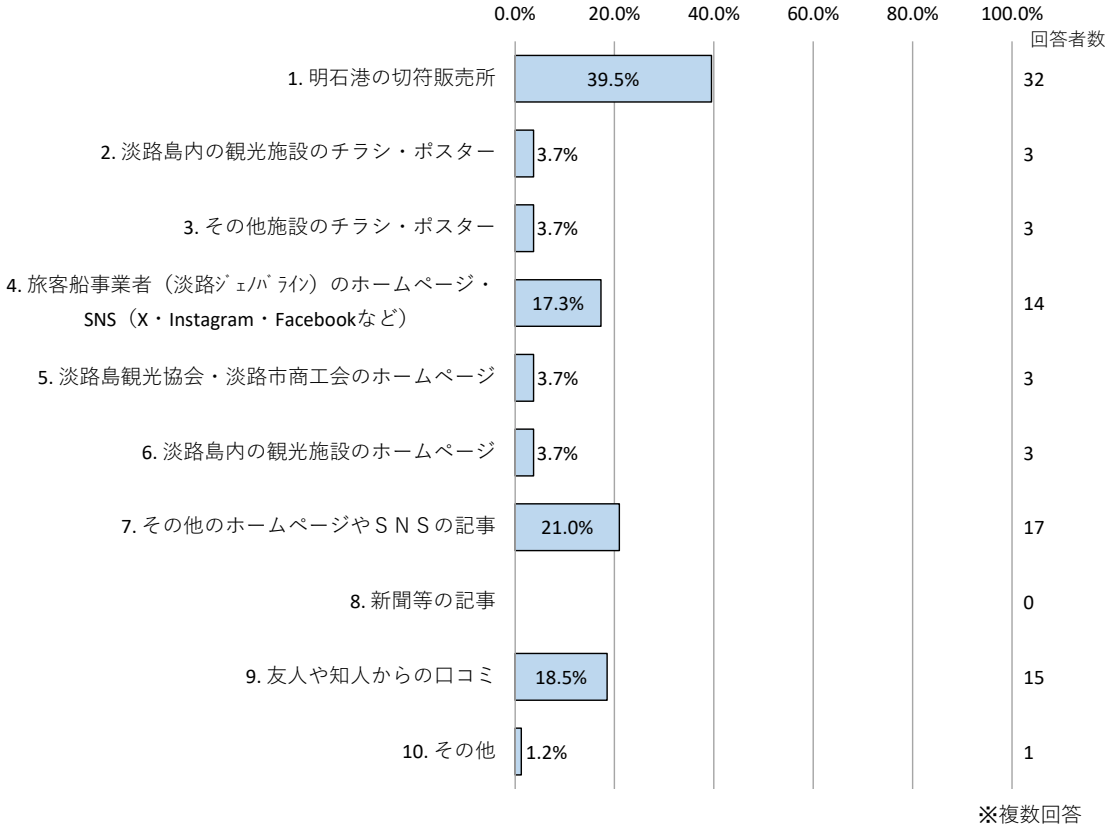


図４－８　特典付き 1day 切符の情報取得の場所・方法

② 特典付き 1day 切符の料金の評価(問 4)

問4　特典付き花・食巡り 1day 切符は、通常 2,200 円のところを 1,540 円としています。この料金については、どのように思われますか。(○は一つだけ)

・回答者の 84%が「料金が割引になり良かった」と現行の料金に満足している。

・「もう少し割引がある方が良かった」との回答は 11 人(13%)であった。割引額については、230 円～1,500 円の割引を希望している。

「2. もう少し割引がある方が良かった」の内訳

	回答者数
230円	1
300円	1
700円	1
1,000円	3
1,300円	1
1,500円	3
無回答	1
合計	11

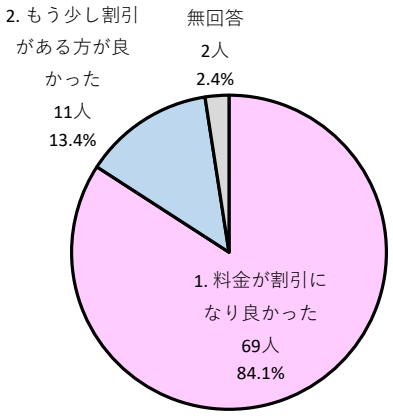


図４－９　特典付き 1day 切符の料金に対する評価

③特典サービスの利用状況(問5)

問5　特典サービスを利用されましたか。

・特典サービスの「利用した」人は 30 人(37%)、「利用しなかった」人は 48 人(59%)と、特典サービスを利用しなかった人の方が多かった。

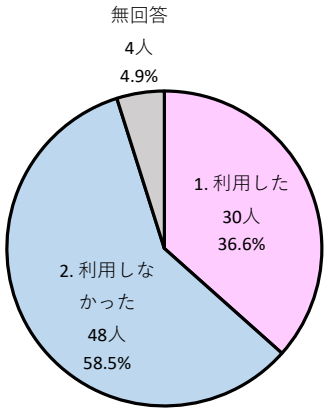


図４－１０　特典サービスの利用状況

④利用した特典サービス(問 6)

問6　特典サービスを利用された方にお聞きします。利用した店舗はどの種別ですか。(複数回答可)

・特典サービスを利用した場所については、「飲食店」が 23 人(77%)と最も多く、次いで「土産店」が 8 人(27%)、「観光施設」が 5 人(17%)となっている。

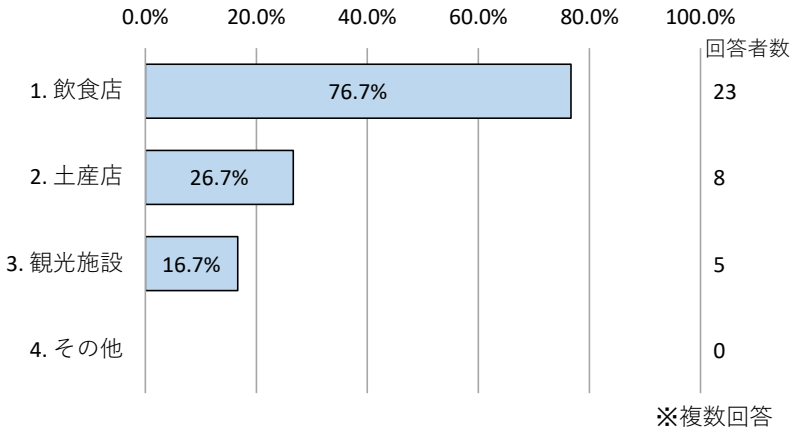


図４－１１　特典サービスを利用した場所

⑤特典サービスを利用しなかった理由(問 7)

問7　特典サービスを利用されなかった方にお聞きします。利用されなかった主な理由をお聞かせください。

・特典サービスを利用しなかった理由については、「利用したかったが、利用する時間がなかった」が 21 人(44%)と最も多く、次いで「利用したい特典サービスがなかった」が 14 人(29%)、となっている。

「その他」の内訳

	回答者数
利用目的に入っていなかった。	1
今回は目的が決まっていたため。	1
利用したかったが、行った先で利用できるところがなかった。	1
店舗を通らなかったから。	3
行先に店舗がなかった。	1
自分から言わなくてはならないと使うのを忘れる。	1
無回答	2
合計	10

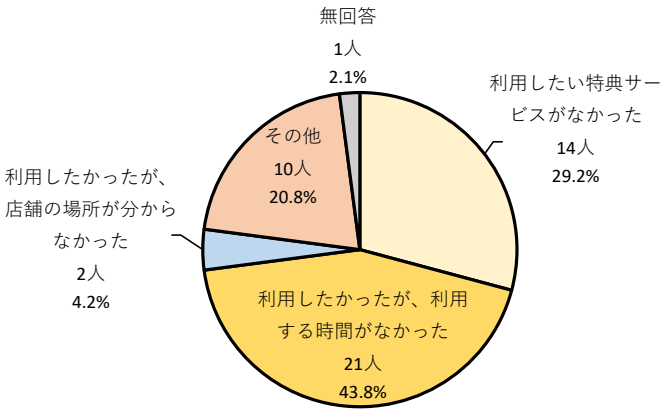


図４－１２　特典サービスを利用しなかった理由

⑥特典付き 1day 切符を用いた移動の状況(問 8)

問8　淡路島島内では、予定どおり移動できましたか。

・「ほぼ予定通り移動できた」が 41 人(50%)、「予定通り移動できた」が 22 人(27%)となっており、7 割以上が概ね予定通りの移動が出来たと回答している。

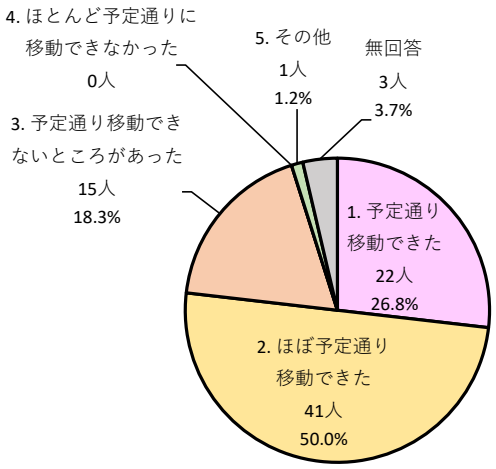


図４－１３　特典付き 1day 切符を用いた移動の状況

⑦ 特典付き 1day 切符の改善点(問 9)

問9　特典付き花・食巡り 1day 切符の改善点がありましたら、お答えください。(購入方法、料金、使い方、付加してほしい特典、など)

・特典付き 1day 切符の改善点については、37 人から 39 件の意見があった。内訳を見ると、特典サービス関連が 8 件、切符の購入関連が 9 件、切符の運用関連が 9 件、バスの運行関連が 6 件、案内情報関連が 6 件、その他が 1 件であった。

表４－５　特典付き 1day 切符の改善点

分類	自由意見
特典サービス	飲食の食べ物を追加してほしい。
特典サービス	使えるお店の時間帯が長いと助かります。
特典サービス	岩屋ポートターミナルの土産店の割引特典。
特典サービス	特典サービスの使い方がわからなかった。
特典サービス	使い方をわかりやすくしてほしい。
特典サービス	実施期間をもう少し長くして欲しい。
特典サービス	さらに500円程度のクーポンがあれば嬉しいです。
特典サービス	もっと値段が安いところで特典がほしい。
切符の購入	スマホのアプリで利用出来たら良い。
切符の購入	paypay等、現金以外で購入できると良い。
切符の購入	自販機で購入できると便利。
切符の購入	ネットで購入できたらよい。
切符の購入	明石港の券売機で販売してほしい。
切符の購入	紙チケットだけではなく、ネットで購入できて例えばスマホ画面提示等で対応してもらえるともっと使いやすいと思いました。
切符の購入	クレジット決済ができると便利。
切符の購入	キャッシュレス対応とスマホ画面での完結。
切符の購入	電子チケットにするとよい。
切符の運用	1日では観光しきれないので、2dayパスがあると良かった。淡路市だけでなく、洲本や南あわじとも連携してほしい。
切符の運用	淡路市だけでなく、鳴門海峡も含めて全島観光に使えるパスポートであってほしい。1dayだけでは見きれないし、冬は特に時間的制約があるので、せめて2dayパスにして中身を充実させてほしい。天候が悪い時はどこに行った方が良いなどのアドバスもほしい。
切符の運用	特典なしで「ジェノバライン＋あわ神あわ姫バス」のチケットも販売してほしい。その分の値下げもお願いします。
切符の運用	2dayパスがあればさらに良い。
切符の運用	2日以上使えるようにする(1日だとあまり回れない)。
切符の運用	年齢による料金差の記載があってもよかった。
切符の運用	この時期だというのは仕方ないですが、緑の季節、花のたくさんの時期なら嬉しいです。反省ですが、もっとよく調べてから来るべきでした。なにより美しい海と、ゆっくりの時間に癒やされました。また利用したいです。
切符の運用	岩屋ポートターミナルの施設でも特典があれば良かったように感じた。
切符の運用	ネット上でできるようにして欲しい。こまめに紙媒体を提示しなくてはならないのは本当に面倒。
バスの運行	本数がもっとあるとありがたいです。
バスの運行	今回は予定通りの時間にバスが来てくれましたが、ゴールデンウイーク時はかなり待ちました。臨時対応していただきたかったです。
バスの運行	バスが1時間に1本だったので、もう少し本数があると移動が便利だった。
バスの運行	17時以降の移動手段がかなり限られるので、何らかの手段があれば助かります。もっと長く淡路で遊びたいです。
バスの運行	北部観光ルートを冬の間も運行してもらえるとうれしいです。
バスの運行	あわ神あわ姫バスの窓にシール貼りすぎて、せっかくの景色が見えないので減らしてほしい。
案内情報	花巡りのPRが少ないと思う。
案内情報	今回外国人と共に利用しました。英語の案内があればなお良い。
案内情報	もっと広まってほしい。
案内情報	モデルコースがあれば良いのではないでしょうか。
案内情報	PRをたくさんしてほしい。
案内情報	バス乗り場がわかりにくい。
その他(高評価)	非常に使いやすくて満足しています。ありがとうございました。

(5) 淡路島の観光全般に対する意見

淡路島の観光全般に対する意見(問 11)

(D)その他
問 11　淡路島の観光全般に対するご意見・改善が必要と思われる点等がございましたら、お知らせ下さい。

・淡路島の観光全般に対する意見は、33 件あった。内訳を見ると、バスの運行関連が 18 件、案内情報関連が 7 件、その他(高評価)が 6 件、その他 2 件であった。

表４－６　淡路島の観光全般に対する意見

分類	自由意見
バスの運行	土曜日に来訪しましたが、バスの本数が少ないので１時間に2～3本に増やしてほしい。
バスの運行	バスの時間が1時間に1本でしたので、30分に1本くらいに増やしてほしい。北部観光周遊回りを通年にしてほしい。
バスの運行	せっかくのバスですが、1時間に1本なので、あちこち見たいと思っても、バスの待ち時間が多かった。
バスの運行	バスの本数が多いと良い。
バスの運行	兵庫県立淡路島公園行きのバスがなくて残念。
バスの運行	公共の交通機関がもう少し増えると移動がしやすいです。
バスの運行	冬の観光は風が強いとバスを待つのがつらいので、バス停の工夫をしてほしい。
バスの運行	バスと船の乗継時間がもう少し短くなるとうれしいです。
バスの運行	観光地を結ぶバスがあればいいかな。
バスの運行	交通経路
バスの運行	バス停を使ったが待合室が汚い、ベンチのイスが壊れてて座れなかった、なので、もっと綺麗にしたらいいと思う。
バスの運行	ジェノバラインとあわ姫あわ神バスの乗り継ぎ待ち時間が少し長い時がありましたのでダイヤ改善してもらえるとより使いやすいと思いました。
バスの運行	バスの移動時間の管理が難しいので、モデルコースのようなものがあるとわかりやすい。
バスの運行	喫煙所を増やしてほしいです。ハイウェイオアシスに自家用車以外の手段でスムーズにいけるルートがあればよいのに。
バスの運行	車を持っていないので、大塚美術館や人形浄瑠璃、うずしおなどの観光に手軽に行けるようにしてほしい。
バスの運行	島内の路線バス、コミュニティバス、高速バス、すべて乗り放題の切符を出してほしい。
バスの運行	バスの本数を増やしてほしい。
バスの運行	バスの接続を改善してほしい。バンバンバスとあわ神あわ姫バスを２～３分等で接続させてはどうか。
案内情報	英語の案内を増やしてほしい。
案内情報	風土を活かしたプレゼンをしてください。分断感が否めないので、島全体を使用できたらうれしいです。
案内情報	外国人向けに英語の案内を増やしてほしい。
案内情報	様々な移動手段や観光地があることをPRする。
案内情報	路線バスの停留所と、大阪・神戸を結ぶ高速バスの停留所の位置関係が明確であるとなお良い。停留所のマップがほしい。
案内情報	バス車内の映像広告を見ていると面白そうな施設が複数あった。外部にうまく発信すれば興味を示す人が増えるように感じた。
案内情報	神戸からの陸路以外もたくさん知りたいです。
その他(高評価)	とても神秘的で最高でした。
その他(高評価)	皆さん親切だった。
その他(高評価)	行ったことのない所へ行けた。
その他(高評価)	バスだけでなく、船で安く行けてとても良かった。バスは予約しないと乗れないが、こちらは気負わずに乗ることができた。
その他(高評価)	最近お店が増えて活気が出てきて良いと思う。
その他(高評価)	冬の淡路島も見どころが多くてとても良いと感じました。来年もぜひ実施してください。
その他	岩屋港周辺の整備が待ち遠しい。
その他	公共交通では行けない場所がまだまだ多い一方、元から公共交通で行ける場所へのバスの新設があるので、共倒れになるのではないか。

５．航路利用者アンケート調査結果

5.1　アンケート調査の調査目的・調査方法

・航路利用者アンケート調査(於：岩屋港)は、下表に示す調査目的、調査方法等で実施した。

表５－１　航路利用者アンケート調査(於：岩屋港)

【調査 2】航路利用者アンケート調査(於:岩屋港)	
調査目的 調査視点	【目的】航路利用者の属性、交通行動、予定と実際の相違、淡路島の観光の魅力、満足度などを把握する。 【視点】昨年度調査では明石港で淡路島での行動「予定」を聞いた。今年度調査は実際の行動を聞き、「予定」と「実際」の違いから課題を見出す。
調査方法	①調査方法・調査対象 ・岩屋港でのアンケート調査。主に観光目的の航路利用者を対象とする。 ②調査日 ・社会実験期間（12 月 1 日～1 月 31 日）の土曜日の 12 月 9 日(土)に実施した。 ③調査票の配布・回収 ・観光客の行動を把握するため、昼（13:00 発便）から夜（21：20 発便）の計 12 便の航路利用者を対象に、岩屋港の待合室で調査員がヒアリングを行う、若しくはアンケート調査票を渡して記入してもらう。 ・船内でも回答できるよう、アンケート調査票に鉛筆をつけて配布し、明石港にも調査員を配置する。 <岩屋港の混雑する時間帯> ■土曜日　■日曜日 資料：グーグルマップ ④その他 ・ノベルティ（ボールペン）をつけて、回収率を高める。
調査項目	①属性について ・性別、年齢、住所、淡路島への来訪回数 ②交通行動について ・利用目的（観光、通勤、通学、買い物、業務など)、主な来訪場所、島内での主な移動手段、など ③航路について ・明石～岩屋航路を知ったキッカケ ・明石～岩屋航路を利用した理由、明石～岩屋航路の改善点など ④淡路島の観光について ・観光に対する満足度など
主な分析検証項目	・航路利用の観光客の行動パターン・属性 ・航路とバスの乗継・連携にあたっての問題点 ・淡路島観光の満足度（自由意見より分析） ・社会実験の効果（1day 切符の認知状況など）

明石～岩屋航路に関するアンケート

平素は、国土交通行政にご理解をいただきありがとうございます。本アンケート調査は、淡路島観光における明石～岩屋航路の利用実態や課題を探るため実施しています。ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、回答は全て統計的に処理し、内容は個別に公表することはありません。また、この調査の分析以外には一切使用しません。

調査実施主体:国土交通省神戸運輸監理部　受託事業者:株式会社シティプランニング

質　問	回答欄
問1 今回、淡路島へはどのような目的で来られましたか？	1. 観光　2. 通学　3. 通勤　4. 仕事・業務　5. 帰宅 6. その他（　　） →「観光」と回答された方は、問2以降の質問にお答えください。 →「観光」以外を回答された方は、問3以降の質問にお答えください。
問2　問1で「観光」と回答された方にお聞きします。今回は、どの観光地を訪問されましたか？ （複数回答可）	1. 兵庫県立淡路島公園　2. 淡路ハイウェイオアシス　3. ニジゲンノモリ 4. 淡路島国営明石海峡公園　5. 淡路夢舞台　6. 本福寺 7. 道の駅あわじ・松帆アンカレイジパーク　8. 北淡震災記念公園 9. あわじ花さじき　10. HELLO KITTY SMILE　11. のじまスコーラ 12. 伊弉諾神宮　13. 淡路ワールドパーク ONOKORO 14. その他（　　）
問3　淡路島内ではどのような交通手段を利用されましたか？ （複数回答可）	1.高速バス　2.コミュニティバス（あわ神あわ姫バス） 3.バンバンバス　4. 無料シャトルバス（アワジ・ウエスト・コースト） 5.自転車（自分のもの）　6.自転車（レンタサイクル）　7.徒歩　8. バイク・原付 9.自動車　10.自動車（レンタカー）　11. タクシー　12.その他（　　）
問4　問3で「コミュニティバス」と回答された方にお聞きします。淡路島内では予定通り移動できましたか？	1. 予定通り移動できた 2. ほぼ予定通り移動できた 3. 予定通り移動できないところがあった 4. ほとんど予定通りに移動できなかった 5. その他（　　）
問5　この船を利用する理由はなんですか？ （複数回答可）	1. 便利だから　2. 快適だから　3. 安価だから　4. 自動車を運転できないから 5. 自転車・バイクを運べるから　6.海を渡ってみたかったから 7. ツアーなどで旅程が決まっていたから　8.その他（　　）
問6　この船を何で知りましたか？	1. テレビ　2. 雑誌　3. 新聞・チラシ　4. インターネット 5. SNS（X・Instagram・Facebook など） 6. 家族・友人・知人からの口コミ　7. その他（　　）
問7　現在、特典付き花・食巡り1day 切符を販売しているのをご存知でしたか？	1. 知っている　→問 8、問 9 へ 2. 知らなかった　→問 10 へ

裏面におすすみください▶▶▶

質　問	回答欄
問8　問7で「知っている」と回答された方にお聞きします。特典付き花・食巡り 1day 切符は、利用されましたか。	1. 利用した 2. 利用しなかった 【利用しなかった理由】 1.船で往復しないため 2.コミュニティバス（あわ神あわ姫バス）を利用しないため 3.その他（　　）
問9　問7で「知っている」と回答された方にお聞きします。特典付き花・食巡り 1day 切符は、どこでお知りになりましたか。（複数回答可）	1. 明石港の切符販売所 2. 淡路島内の観光施設のチラシ・ポスター 3. その他施設のチラシ・ポスター 4. 旅客船事業者（淡路ジェノバライン）のホームページ・SNS（X・Instagram・Facebook など） 5. 淡路島観光協会・淡路市商工会のホームページ 6. 淡路島内の観光施設のホームページ 7. その他のホームページやSNSの記事 8. 新聞等の記事 9. 友人や知人からの口コミ 10. その他（　　）
問 10　問 7 で「知らなかった」と回答された方にお聞きします。当てはまる理由はなんですか。（複数回答可）	1. 明石港で特典付き花・食巡り 1day 切符のポスターなどの情報に気づかなかった。 2. 淡路ジェノバラインや観光施設などのホームページや SNS は、見なかった。 3.淡路ジェノバラインのホームページ・SNS を見たが、特典付き花・食巡り 1day 切符の情報に気づかなかった。 4. 観光施設などのホームページ・SNS を見たが、特典付き花・食巡り 1day 切符の情報に気づかなかった。 5. その他　（　　）
ご自身のことについてお尋ねします	
問 11　性別は？	1. 男性　2. 女性　3. 無回答
問 12　年齢は？	1. 10 歳代　2. 20 歳代　3. 30 歳代　4. 40 歳代 5. 50 歳代　6. 60 歳代　7. 70 歳代　8. 80 歳以上
問 13　ご住所は？	1. 兵庫県内→（　　）市町　2. 兵庫県外→（　　）都道府県
問 14　何人で来られましたか？	1. ひとり　2.二人　3.三人　4.四人～九人以上　5.十人以上
問 15 何回ほど淡路島に行ったことがありますか？	1. 今回が初めて　2. 2～4 回　3. 5 回以上 4. 淡路島内に居住している

明石～岩屋航路や淡路島の観光についてご感想やご意見がありましたら、自由に記述して下さ

ご協力ありがとうございました。

お降りの際、回収係員にお渡し下さい。

5.2　アンケート調査結果

（1）調査日の状況

①獲得サンプル数

12 月 9 日（土）に航路利用者アンケート調査を岩屋港において予定通り実施した。アンケート票の獲得数は、235 票であった。

表５－２　航路利用者アンケート調査の獲得サンプル数

獲得サンプル数	235 票

写真　アンケート調査の実施状況

②調査対象便の乗船客

アンケート調査を実施した 12 月 9 日（土）の淡路ジェノバラインの各便の乗船者数は、下表のとおりである。

アンケート調査の回収率は、48%（＝235 票÷492 人）となった。

表５－３　明石～岩屋航路の調査対象便の乗船客

月　日	便	乗船者数合計	人	自転車	バイク	備考
12月9日	13:00	52	45	4	3	
	14:00	49	45	3	1	
	15:00	56	51	4	1	
	16:00	57	44	10	3	
	16:40	77	68	7	2	
	17:20	49	44	1	4	
	18:00	26	24	2	0	
	18:40	30	26	1	3	
	19:20	23	22	0	1	
	20:00	22	21	1	0	
	20:40	21	18	3	0	
	21:20	30	28	2	0	
	合計	492	436	38	18	
	構成比	100%	89%	8%	4%	

(2) 調査対象と注意事項

明石港で淡路島での行動「予定」を聞いた昨年度調査に対し、今年度調査は島内での実際の行動を聞き、「予定」と「実際」の違いから課題を見出すとの視点から、岩屋港の13：00 発便から 21：20 発便までを対象として、乗船者への調査を実施した。

このため、調査結果については、次の点への注意が必要である。

1. 13：00 発便より前及び深夜便(22:20、23:20 発便)の乗船者の状況は把握できていない。
2. 宿泊客などの午前の航路便で帰る観光客を把握できない。
   ・淡路島観光は、日帰り客が 90%以上を占める（令和元年度）ことから、午後からの調査でも観光客の概ねの状況は把握できると想定した。
3. 観光閑散期(12 月初旬)のため、サイクリングなどの利用者は通常期に比べて少ないと想定される。
4. 今回、団体客（50~100 人規模）はいなかった。

■調査便：岩屋港発 13:00～21:20 の 12 便

表５－４　明石～岩屋　ダイヤ（R2.6.1 より）

月曜～金曜 平日

時刻	岩屋→明石（分）	明石→岩屋（分）
5	20	40
6	00 40	20
7	00 20 40	00 20 40
8	00 30	00 30
9	00 30	00 30
10	00 40	00 30
11	20	10 40
12	00	30
13	00	30
14	00	30
15	00	30
16	00 40	20
17	20	00 40
18	00 40	20
19	20	00 40
20	00 40	20
21	20	00 40
22	20	40
23	20	40

土曜・日曜・祝祭日

時刻	岩屋→明石（分）	明石→岩屋（分）
5		
6	00	30
7	00	30
8	00	30
9	00	30
10	00	30
11	20	40
12	00	30
13	00	30
14	00	30
15	00	30
16	00 40	20
17	20	00 40
18	00 40	20
19	20	00 40
20	00 40	20
21	20	00 40
22	20	40
23	20	40

■黒色＝まりんあわじ(125cc 以下バイク可)　■赤色＝まりーんふらわあ２

■青色＝小型船（ジェノバⅠまたはレットスター２）

※125cc 以下のバイクを運搬できるのは「まりん・あわじ」のみ。
※天候などにより配船が変わる場合がある。

(3) 回答者の属性

① 性別･年齢(問 11, 問 12)

ご自身のことについてお尋ねします
問 11　性別は？　問 12　年齢は？

・アンケート調査では、10 歳代～80 歳以上の男女、合わせて 235 人から回答を得た。回答者は男性 58%、女性 42%で、年齢構成は 50 歳代が 21%と最も多く、次いで 40 歳代の 18%、20 歳の 18%、30 歳代の 14%となっている。

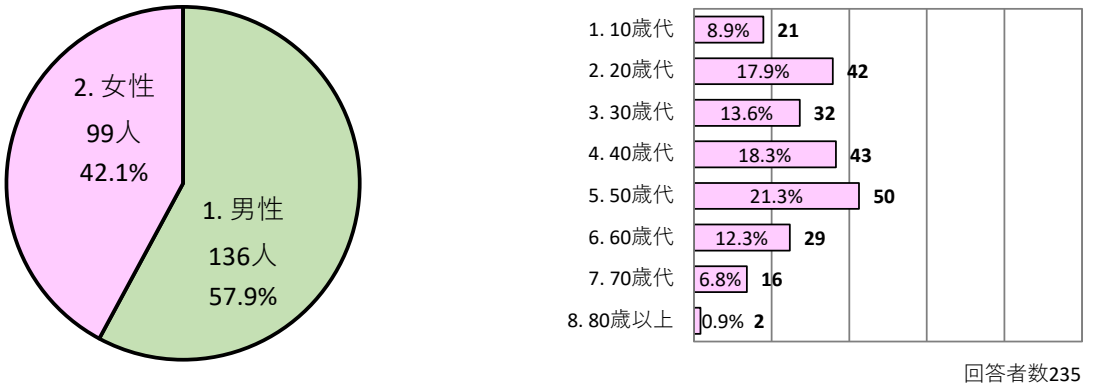


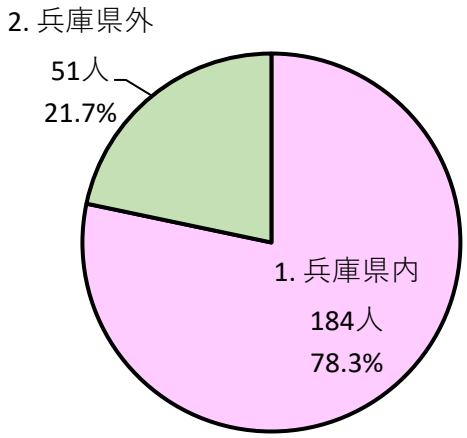
図５－１　回答者の性別・年齢構成

② 居住地(問 13)

問 13　ご住所は？

・回答者の 78%が兵庫県内の居住者で、明石市、淡路市、神戸市の居住者が多かった。

・兵庫県外では、大阪府をはじめとする近畿圏からの来訪者のほか、福岡県などからの来訪者もいた。



		回答者数	割合
兵庫県	神戸市	37	15.7%
	姫路市	3	1.3%
	尼崎市	5	2.1%
	明石市	57	24.3%
	西宮市	3	1.3%
	洲本市	7	3.0%
	芦屋市	2	0.9%
	加古川市	3	1.3%
	宝塚市	1	0.4%
	高砂市	1	0.4%
	南あわじ市	1	0.4%
	朝来市	2	0.9%
	淡路市	51	21.7%
	たつの市	1	0.4%
	神崎郡福崎町	1	0.4%
	兵庫県 市区町村不明	9	3.8%
兵庫県外	秋田県	2	0.9%
	埼玉県	1	0.4%
	東京都	2	0.9%
	神奈川県	2	0.9%
	岐阜県	1	0.4%
	静岡県	2	0.9%
	京都府	8	3.4%
	大阪府	27	11.5%
	岡山県	1	0.4%
	徳島県	2	0.9%
	福岡県	3	1.3%
合計		235	100.0%

図５－２　回答者の居住地

③ 淡路島への来訪回数(問 15)

問 15　何回ほど淡路島に行ったことがありますか？

・回答者の 63%が「5 回以上」と回答、次いで「淡路島島内に居住している」が 25%、「2～4 回」が 7%、「今回が初めて」が 5%となっている。

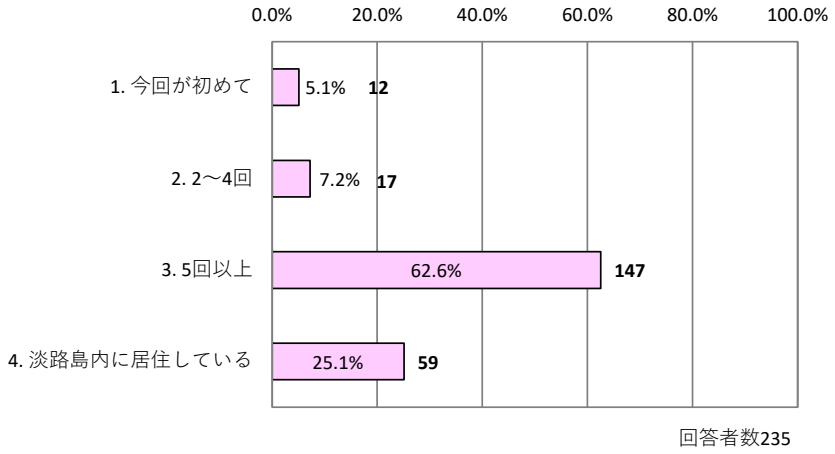


図５－３　淡路島への来訪回数

(4) 行動の状況

① 来訪目的(問 1)

問1　今回、淡路島へはどのような目的で来られましたか？

・調査日は土曜日であるが、観光施設などで働く人もいることから、「観光」が 35%、「通勤」が 17%、「仕事・業務」は 11%となっている。「その他」では、「居住している」が 22 人、「帰省」が 6 人、「釣り」が 7 人などとなっている。

・なお、「観光」に「その他」の「釣り」などの観光関連の 14 人を含めると、観光目的は 41%となる。

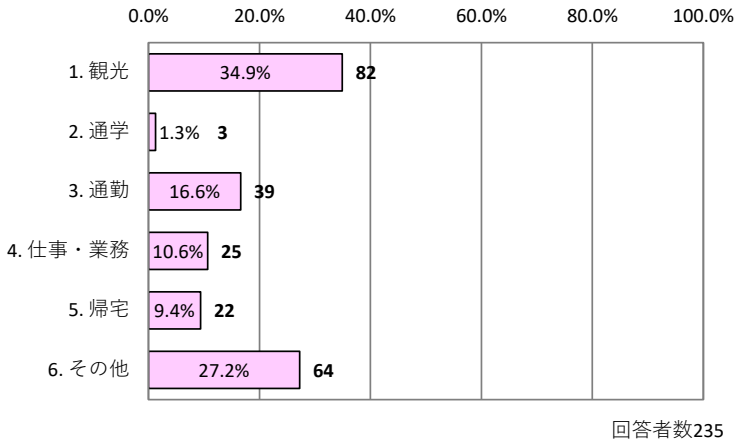
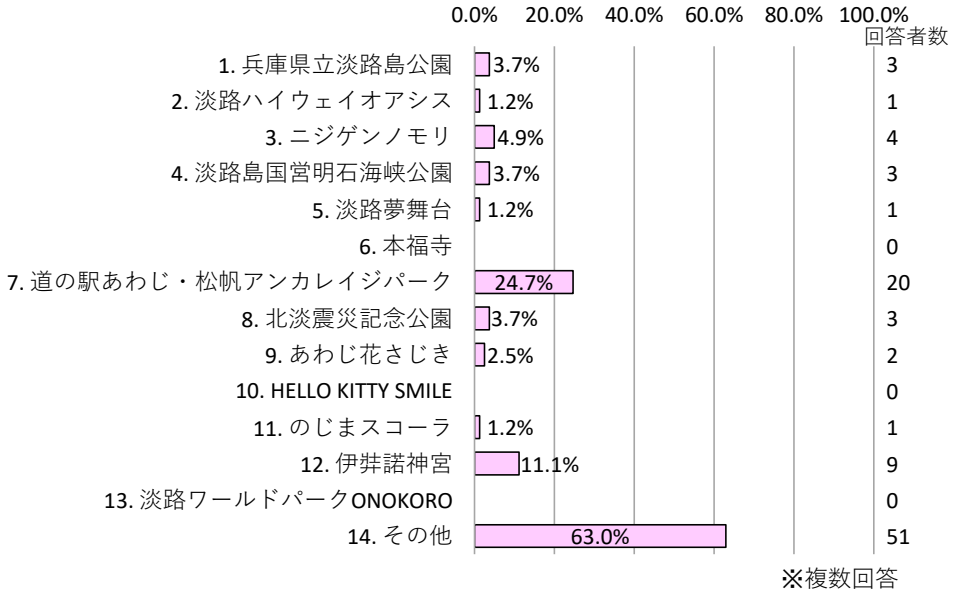


図５－４　淡路島への来訪目的

② 観光目的の行先(問２)

問2　問1で「観光」と回答された方にお聞きします。今回は、どの観光地を訪問されましたか？（複数回答可）

・回答者の 51 人（63%）が「その他」と回答、そのうちの 21 人が岩屋港～道の駅あわじ付近、14 人が淡路島周遊(サイクリングなど)と回答している。設問に示した行先では、「道の駅あわじ・松帆アンカレイジパーク」が 20 人（25%)、「伊弉諾神宮」が 9 人（11%)、「ニジゲンノモリ」が 4 人（5%）となっている。



「14. その他」の内訳

分類	回答数	行先	回答数
岩屋港～道の駅付近	21	淡路島タコステ	6
		旧アソンブレホール	3
		美湯松帆の郷	3
		鳥の山展望台	2
		道の駅、キャンプ。	1
		岩屋港周辺など	6
淡路島周遊	14	サイクリングなど	12
		バスなどで周遊	2
夢舞台	2	アクアイグニス	2
南あわじ	6	福良港など	6
その他	5	イオン(志筑)	1
		大磯	1
		パルシェ香りの館	1
		五斗長垣内遺跡	1
		淡路島七福神めぐり	1
無回答、なし	3		3
合計	51		51

図５－５　観光目的の行先

③ 目的地までの交通手段(問３)

問3　淡路島内ではどのような交通手段を利用されましたか？(複数回答可)

・回答者の 25%が「徒歩」と回答、次いで「自動車」が 23%、「自転車(自分のもの)」が 16%、「無料シャトルバス」が 14%、「コミュニティバス」が 10%となっている。

・目的別にみると、観光では「徒歩」、「自転車(自分のもの)」、「コミュニティバス」が高くなっている。

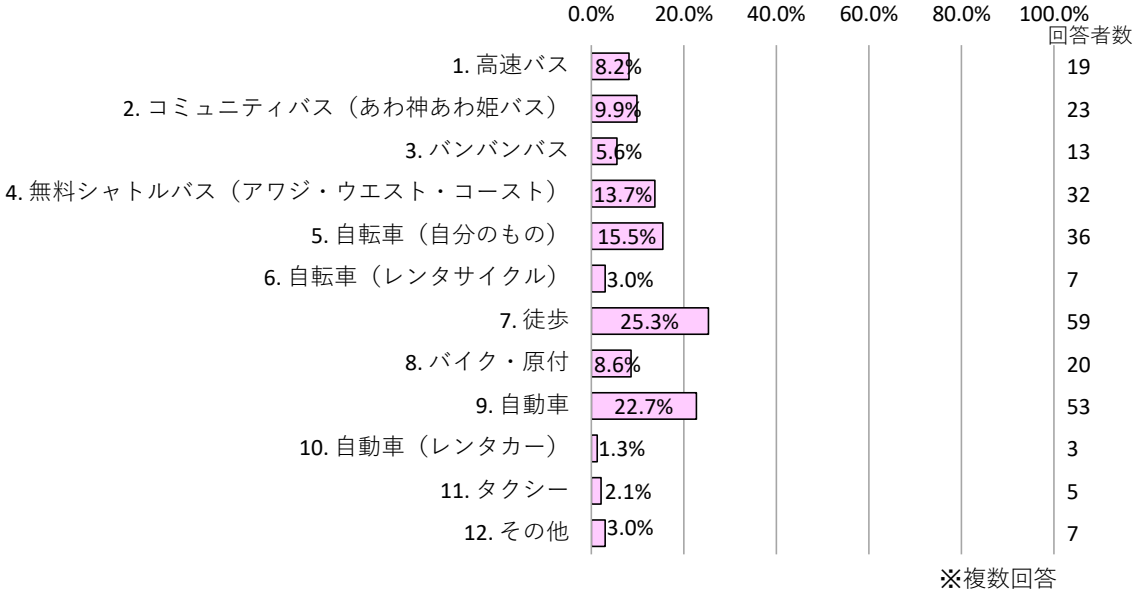


図５－６　目的地までの交通手段

表５－５　目的地までの交通手段（目的別）

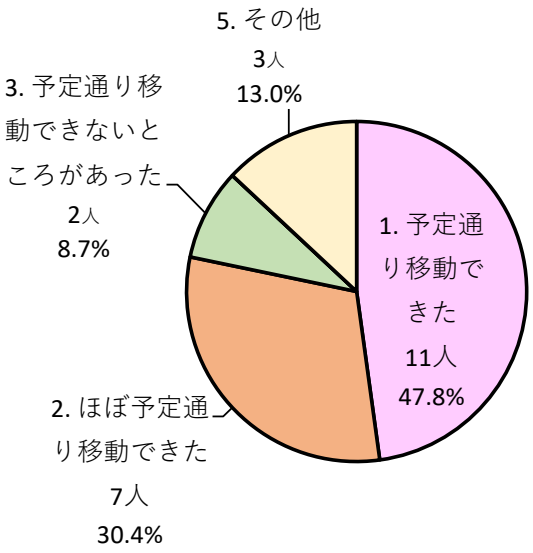
	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計
1. 高速バス	8	1	4	1	2	3	19
2. コミュニティバス（あわ神あわ姫バス）	15	2	0	1	0	5	23
3. バンバンバス	7	0	0	0	1	5	13
4. 無料シャトルバス（アワジ・ウエスト・コースト）	6	0	21	4	1	0	32
5. 自転車（自分のもの）	18	1	4	1	6	6	36
6. 自転車（レンタサイクル）	6	0	0	0	0	1	7
7. 徒歩	18	2	6	6	4	23	59
8. バイク・原付	11	0	2	2	3	2	20
9. 自動車	5	1	4	9	11	23	53
10. 自動車（レンタカー）	1	0	0	0	1	1	3
11. タクシー	1	0	2	0	0	2	5
12. その他	0	1	1	3	0	2	7
合計	96	8	44	27	29	73	277
回答者数	81	0	0	0	0	0	81
無回答	1	3	39	25	22	64	154

※複数回答

④ コミュニティバスでの移動(問４)

問4　問3で「コミュニティバス」と回答された方にお聞きします。淡路島内では予定通り移動できましたか？

・コミュニティバスを利用した回答者の 48%が「予定通り移動できた」、30%が「ほぼ予定通り移動できた」と回答している。



「5.その他」の内訳

	回答者数
本数が少なく利用しづらかった。	1
アプリの時刻が間違っている。	1
ジェノバラインとの繋ぎが悪い。	1
合計	3

図５－７　目的地までの交通手段

⑤ 船を利用する理由(問５)

問５　この船を利用する理由はなんですか？（複数回答可）

・回答者の 61%が「便利だから」と回答、次いで「その他」が 19%、「快適だから」が 15%、「自転車・バイクを運べるから」が 15%となっている。

・なお、「その他」の 45 人中、「これしかないから」が 8 人、「早いから」が 4 人、「自宅が近いから」が 4 人、「バイクで来るにはこれしかないから」が 3 人などとなっている。

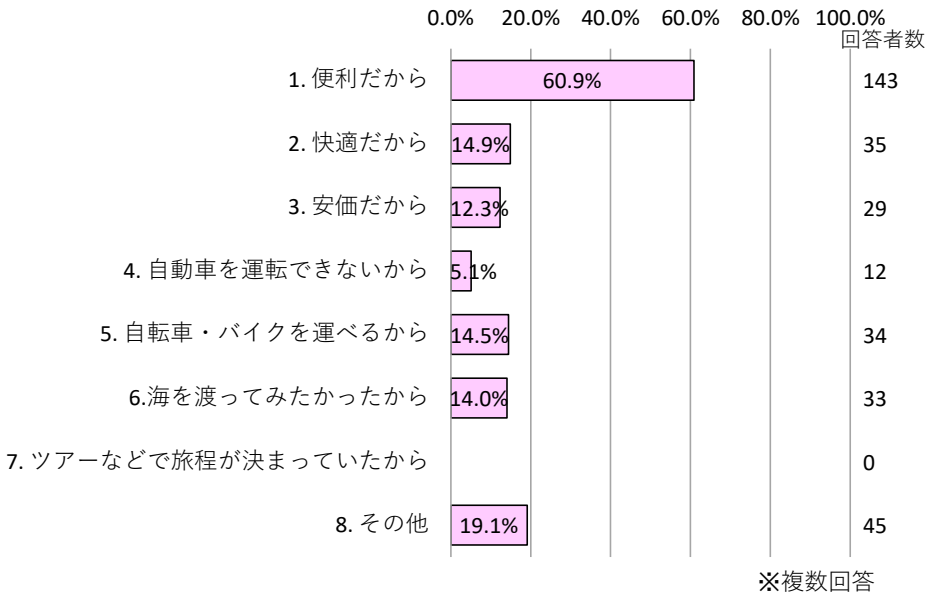


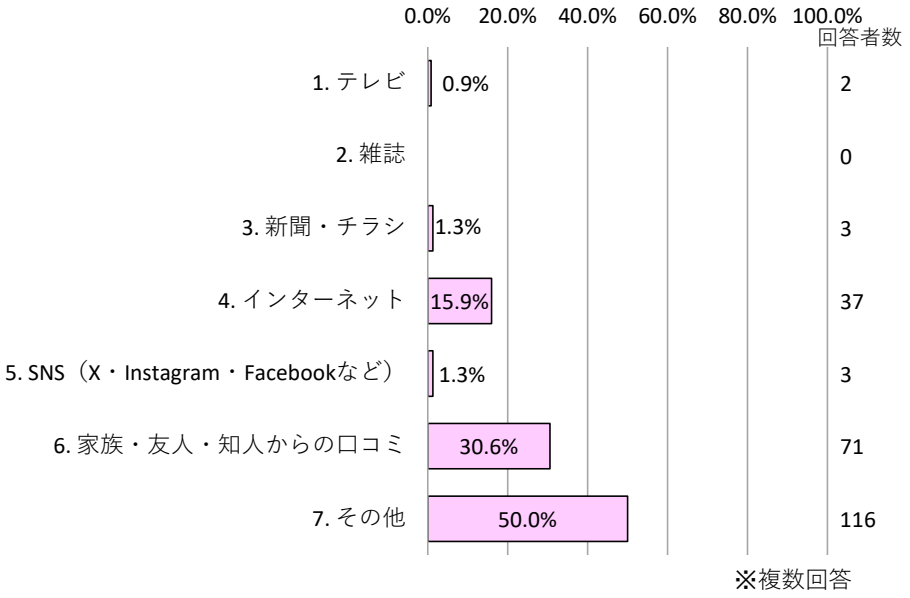
図５－８　航路を利用する理由

⑥ 船の認知方法(問６)

問6　この船を何で知りましたか？

・回答者の 50%が「その他」と回答しているが、その大半は「元々知っている」である。次いで「家族・友人・知人からの口コミ」が 31%、「インターネット」が 16%となっている。

・目的別にみると、「観光」では、「家族・友人・知人からの口コミ」と「インターネット」が多いが、相対的に「インターネット」の割合が高くなっている。また、明石に着いてから知った人も数人いた。



「7．その他」の内訳

	回答者数	割合	観光のみ	割合
（地元・元地元等の理由で）元々知っている。	59	50.9%	12	50.0%
職場の人から聞いて。	6	5.2%	0	0.0%
いつも利用しているから。	5	4.3%	0	0.0%
通勤で利用。	3	2.6%	1	4.2%
職場の指定。	3	2.6%	0	0.0%
明石駅でポスターを見て。	2	1.7%	2	8.3%
移動手段として検索。	1	0.9%	1	4.2%
明石に到着して知った。	1	0.9%	1	4.2%
明石市観光パンフレット。	1	0.9%	1	4.2%
通学で利用していた。	1	0.9%	1	4.2%
最初は交通手段を調べて、その後は景観の良さなどの目的であえて利用している。250ccのバイクで来たい。	1	0.9%	1	4.2%
明石港で見つけた。	1	0.9%	1	4.2%
無回答	32	27.6%	3	12.5%
合計	116	100.0%	24	100.0%

図５－９　航路の認知方法

表５－６　航路の認知方法（目的別）

	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計
1. テレビ	2	0	0	0	0	0	2
2. 雑誌	0	0	0	0	0	0	0
3. 新聞・チラシ	1	0	0	2	0	0	3
4. インターネット	24	1	4	1	2	5	37
5. SNS（X・Instagram・Facebookなど）	3	0	0	0	0	0	3
6. 家族・友人・知人からの口コミ	28	0	9	7	5	22	71
7. その他	24	2	25	14	15	36	116
合計	82	3	38	24	22	63	232
回答者数	82	3	38	24	22	63	232
無回答	0	0	1	1	0	1	3

※複数回答

⑦ 同行人数(問 14)

問 14　何人で来られましたか？

・回答者の 64%が「ひとり」と回答、ついで「二人」が 27%、「三人」が 6%、「四人～九人」が 3%となっている。

・観光目的については、82 人中「ひとり」が 29 人(35%)、「二人」が 42 人(51%)と、二人連れの割合が高くなっている。

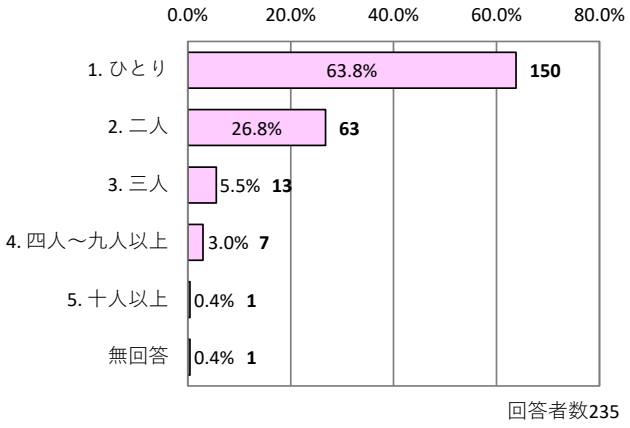


図５－１０　同行人数

表５－７　同行人数（目的別）

	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計
1. ひとり	29	3	35	22	20	41	150
2. 二人	42	0	3	1	2	15	63
3. 三人	5	0	0	0	0	8	13
4. 四人～九人以上	6	0	1	0	0	0	7
5. 十人以上	0	0	0	1	0	0	1
無回答	0	0	0	1	0	0	1
合計	82	3	39	25	22	64	235

(5) 特典付き 1day 切符について

① 特典付き 1day 切符の認知度(問 7)

問7 現在、特典付き花・食巡り 1day 切符を販売しているのをご存知でしたか？

・特典付き 1day 切符を「知っている」と回答した人 25%で、「知らなかった」が 75%であった。

・観光目的では、「知っている」と回答した人は 82 人中 16 人(20%)にとどまった。

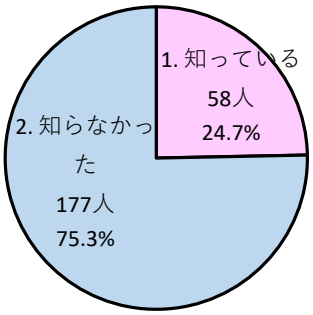


図５－１１　特典付き 1day 切符の認知度

表５－８　特典付き 1day 切符の認知度（目的別）

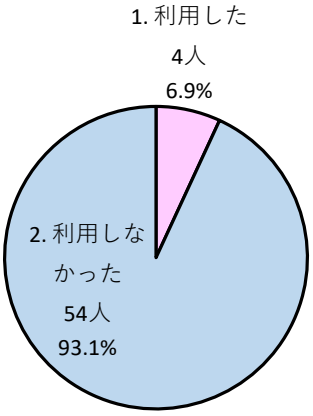
	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計
1. 知っている	16	0	14	13	3	12	58
2. 知らなかった	66	3	25	12	19	52	177
合計	82	3	39	25	22	64	235

② 特典付き 1day 切符の利用状況(問 8)

問8　問7で「知っている」と回答された方にお聞きします。特典付き花・食巡り 1day 切符は、利用されましたか。

・特典付き 1day 切符を「知っている」58 人のうち、「利用した」のは 4 人(7%)となっている。

・「利用しなかった」理由としては、「コミュニティバスを利用しないため」が 44%、「その他」が 35%となっている。「その他」では、「自転車移動だから」、「定期を持っているから」などの理由があげられている。



「2. 利用しなかった」の内訳

	回答者数	割合
1. 船で往復しないため	0	0.0%
2. コミュニティバス（あわ神あわ姫バス）を利用しないため	24	44.4%
3. その他	19	35.2%
無回答	11	20.4%
合計	54	100.0%

図５－１２　特典付き 1day 切符の利用状況

表５－９　特典付き 1day 切符を利用しなかった理由（目的別）

利用しなかった理由	利用しなかった理由（その他回答）	観光	通学	通勤	仕事・業務	帰宅	その他	合計
1. 船で往復しないため	―	0	0	0	0	0	0	0
2. コミュニティバス（あわ神あわ姫バス）を利用しないため	―	4	0	3	9	1	7	24
3. その他	レンタサイクルを利用したため。	2	0	0	0	0	0	2
	自転車移動だから。	2	0	0	0	0	0	2
	定期を持っているから。	0	0	2	0	0	0	2
	行く機会が無かった。	0	0	0	0	1	0	1
	地元に住んでいるから。	0	0	0	0	0	1	1
	島内在住のため。	0	0	0	0	0	1	1
	地元だから。	0	0	0	1	0	0	1
	券を買った後で知ったので。	1	0	0	0	0	0	1
	1day切符の購入場所がわからなかった。	1	0	0	0	0	0	1
	観光しないため。	0	0	0	0	0	1	1
	必要ないため。	0	0	0	0	1	0	1
	バスで別宅へ往復するだけだから。敬老パスがあるので1dayの方が高くなる。	0	0	0	0	0	1	1
	仕事で来ているため。	0	0	1	0	0	0	1
	職場が対象店舗なので。	0	0	1	0	0	0	1
	無回答	0	0	1	1	0	0	2
無回答	―	2	0	6	2	0	1	11
合計		12	0	14	13	3	12	54

③ 特典付き 1day 切符の認知方法(問 9)

問9　問7で「知っている」と回答された方にお聞きします。特典付き花・食巡り 1day 切符は、どこでお知りになりましたか。（複数回答可）

・特典付き 1day 切符を「知っている」58 人のうち、53%が「明石港の切符販売所」、37%が「淡路島内の観光施設のチラシ・ポスター」、16%が「その他施設のチラシ・ポスター」となっている。

表５－１０　特典付き 1day 切符の認知方法(目的別)

	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計	割合
1. 明石港の切符販売所	10	0	4	9	1	6	30	52.6%
2. 淡路島内の観光施設のチラシ・ポスター	3	0	6	7	0	5	21	36.8%
3. その他施設のチラシ・ポスター	3	0	4	0	0	2	9	15.8%
4. 旅客船事業者（淡路ｼﾞｪﾉﾊﾞﾗｲﾝ）のホームページ・SNS（X・Instagram・Facebookなど）	0	0	0	0	1	1	2	3.5%
5. 淡路島観光協会・淡路市商工会のホームページ	1	0	0	0	0	0	1	1.8%
6. 淡路島内の観光施設のホームページ	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7. その他のホームページやＳＮＳの記事	1	0	0	1	0	0	2	3.5%
8. 新聞等の記事	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9. 友人や知人からの口コミ	0	0	1	0	0	0	1	1.8%
10. その他	0	0	3	3	1	1	8	14.0%
合計	18	0	18	20	3	15	74	129.8%
回答者数	16	0	14	13	3	11	57	100.0%
無回答	0	0	0	0	0	1	1	58

④ 特典付き 1day 切符を知らない理由(問 10)

問 10　問 7 で「知らなかった」と回答された方にお聞きします。当てはまる理由はなんですか。(複数回答可)

・特典付き 1day 切符を「知らなかった」177 人のうち、78%が「明石港でポスターなどに気づかなかった」、59%が「淡路ジェノバラインや観光施設などのホームページや SNS は見なかった」としている。また、「淡路ジェノバラインのホームページや SNS を見たが気づかなかった」が 14%、「観光施設などのホームページや SNS を見たが気づかなかった」が 12%となっている。

・観光目的でも、ほぼ同様の傾向となっている。

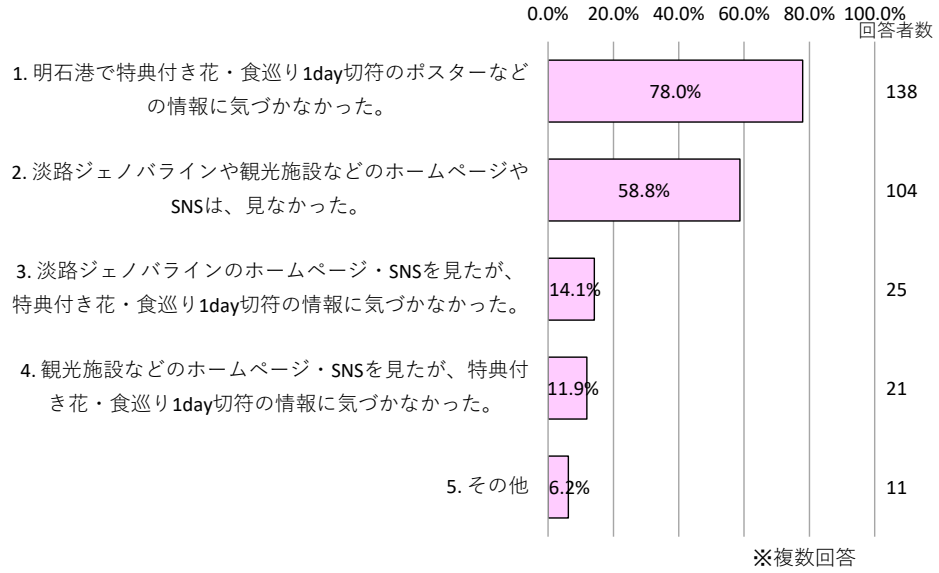


図５－１３　特典付き 1day 切符を知らない理由

表５－１１　特典付き 1day 切符を知らない理由（目的別）

	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計	割合
1. 明石港で特典付き花・食巡り1day切符のポスターなどの情報に気づかなかった。	53	3	17	10	15	40	138	78.0%
2. 淡路ジェノバラインや観光施設などのホームページやSNSは、見なかった。	39	2	14	5	7	37	104	58.8%
3. 淡路ジェノバラインのホームページ・SNSを見たが、特典付き花・食巡り1day切符の情報に気づかなかった。	12	0	3	3	4	3	25	14.1%
4. 観光施設などのホームページ・SNSを見たが、特典付き花・食巡り1day切符の情報に気づかなかった。	12	0	2	3	0	4	21	11.9%
5. その他	4	0	4	0	0	3	11	6.2%
合計	120	5	40	21	26	87	299	168.9%
回答者数	66	3	25	12	19	52	177	100.0%

※複数回答

（6）自由意見について

・明石～岩屋航路や淡路島の観光に対する意見は、64 件あった。内訳を見ると、航路関連が 30 件、観光関連が 17 件、バスの運行関連が 5 件などであった。

表５－１２　自由意見

分類	来訪目的	ご意見
航路	観光	故障に備えて、バイクを載せられる船を用意してください。
	観光	30分に1本くらい（1時間2便）運行してほしい。
	観光	船の時間をもう少し増やしてほしい。観光していたら時間が足らず、乗れない。
	観光	便数をもっと増やしてほしい。
	観光	本数を30分に1本に増やしてほしい。
	観光	また来たいので航路を続けてほしい。
	観光	ジェノバラインに250ccのバイクを載せられるようにしてほしい。コミュニティバスのような航路を作ってほしい（東浦～西浦）。
	観光	船にバイクが7台しか載せられないのでもっと載せられる船がほしい。
	通学	1時間に1本なので待つ時間が長い。
	通勤	ジェノバラインの土日の便は少ないと思う。増便を検討してもよいのでは。
	通勤	お昼と朝の便が1時間に1本は少ないので、もう少し増やしてもらえるとうれしい。
	通勤	乗船料が高いです。
	通勤	便数を増やしてほしい。
	通勤	繁忙期や高速道路渋滞時にバス遅延が見込まれる際は、バス定期券を持っている人は、振替輸送で乗船できるようになるとありがたい。市民割（明石、淡路市民）があっても良い。
	通勤	土日のジェノバラインを平日のように9：00台の便を増やしてほしい。観光の人も必要なはずなので。
	通勤	明石で定期券を購入できるようにしてほしい。
	仕事・業務	1時間に1本というのは少し不便。
	仕事・業務	航路存続してほしいです。
	仕事・業務	増便してほしい。
	仕事・業務	便数を増やしてほしい。
	帰宅	ジェノバラインをコロナ前の本数に戻してほしい。
	帰宅	本数を元にもどしてほしい（40分に1本）。
	帰宅	コロナ前の便数に戻してほしい。自転車やバイクで来る人が多いので、春や秋のシーズン中は今よりもっと便数を増やしてほしいです。乗れずに待っている方が多いので。
	その他	ずっと存続してほしい。以前、洲本から試験的に運行されていたフェリー（車を載せられる大きな船）は今後どうなりますか？淡路島から明石へ車で渡れる船を復活させてほしいです。
	その他	ニッチながらこの航路は続くと思います。
	その他	1時間にせめて2本くらいに増便してほしい。
	その他	終始大型の船で運行してほしい。最終の時に座れないことがある。外で波をかぶることもあるのに同じ料金なのはおかしい。大事にしないといけないのは一回きりの観光客ではなく毎日利用する人ではないでしょうか。小型船の外の席が割れていたりして危険なので修理してほしい。
	その他	1day切符は花の時期に1回くらい利用するが、今は母も外出しないので利用しない。バスがなくなり船だけなので、もう少し便数があるとありがたい。
	その他	便数を増やしてほしい。
	その他	便数を増やしてほしい。もっと学生が利用しやすいようにしてほしい。

分類	来訪目的	ご意見
バス	観光	バスが500円は高い。ICカード利用可能にしてほしい。
	観光	バンバンバスと他の交通機関の連携がとれていないので、時間を合わせてもらえるともっと観光しやすい。
	観光	バスの本数が少ないので、待ち時間が長く、島内移動が大変。
	通勤	バス乗り場が（行先も）わかりにくい。
	その他	今回初めてバスを利用したが、料金が高くてびっくりした。
1day切符	観光	花食巡り1dayチケットの情報を他地域に知らせると良いと思う。
	観光	1dayチケットは聞くまで知らなかった。もっと宣伝してほしい。バスがどの範囲を走るのかもわかりにくい。
道路	観光	思っていたよりも自転車にやさしくない気がします。ジェノバラインや観光施設の方々は非常にやさしいと思いました。
	観光	もっと自転車街道を整備してほしい。港～岩屋の裏側の道をもっときれいにしてほしい。
	観光	自転車道が狭くて走りにくかった。
交通一般	観光	沼島に行きたいが、交通手段が少ない。
	通勤	何もかも高い。
	その他	交通の便がもう少し良くなってほしい。
	その他	先日お試しで出た便（しずき）を増やしてほしい。
観光	観光	車とはまた違ってすごく楽しく、家族で来たいです。
	観光	航路に着いた時にもう少しインパクトのある店が出ていたら最高。
	観光	ホテルやカフェ、飲食店がたくさんできていて良くなっていた。
	観光	レンタカーとバスのどちらで観光するか迷いバスにしたが、車だとゆっくり景色を見られないので、バスを選んでよかった。
	観光	満足しています。
	観光	タコステからの観光船に乗りたかったが、冬季で休業中で乗れず、ショックだった。
	観光	岩屋の観光地の整備をしてほしい。近くに何もない。
	観光	全体的に楽しかったが、お店が閉まるのが少し早い。
	観光	閉店時間が少し早い（道の駅あわじに行ったら閉まっていた）。
	通勤	観光客が増えてうれしい。
	通勤	岩屋周辺（徒歩圏内）にコンビニがほしい。
	通勤	淡路はとても良い観光地です。しかし外国人観光客には交通手段やバス乗り場がわかりにくいです。バスのタイプがたくさんあるので。英語の標識はほとんどありません。
	仕事・業務	船旅の良さを満喫しました。
	帰宅	淡路島最高。
	その他	パソナが入り、観光できるところが増えて良くなった。
	その他	眺めは良いし、言うことなし。
	その他	楽しいです。
その他	仕事・業務	ボールペン大事に使います。
	仕事・業務	いつもありがとうございます。
	その他	ゴミは持ち帰ってほしい。

※複数回答（回答数64（回答者数60））

5.3　淡路北部地域への来訪者全体からみた分析

(1) 分析にあたって

航路利用者アンケート調査については、令和４年度も実施していることから、2 箇年の航路利用者アンケート調査と他の既存データを用いて、次の分析を試みた。

・検討対象地域は、「淡路島北部地域＝淡路市」とする。

・淡路島北部地域を訪問する観光客全体の一年間の動向から見て、航路利用はどのような状況にあったかを分析する。

この分析により、２箇年の航路利用者アンケート調査が観光客全体の動向からみても妥当であること（取得したサンプルに偏りがないこと）を確認した。

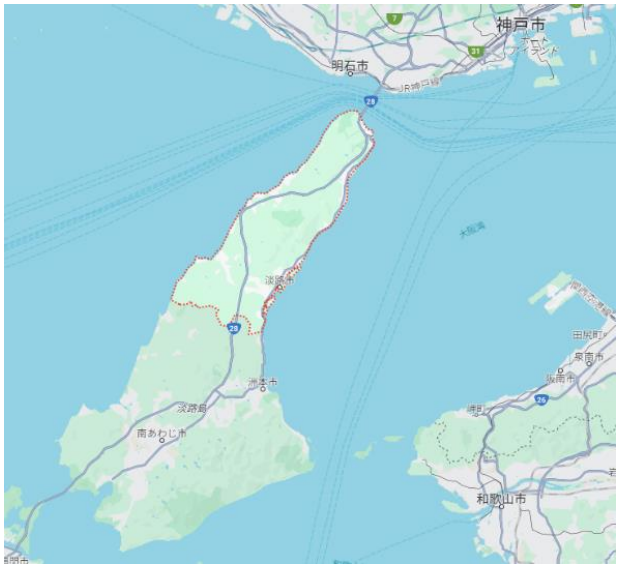


図５－１４　検討対象地域：淡路島北部地域＝淡路市

(2) 基礎データの整理・考察

①淡路島北部地域への観光入込客数

・「令和３年度兵庫県観光客動態調査報告書」より、令和３年度の淡路市の観光入込客数は、7,026 千人/年であった。

注）「令和 4 年度兵庫県観光客動態調査報告書」は、速報値のみ公表。

表５－１３　令和３年度の観光入込客動向

（単位：千人）

	淡路市		淡路地域	
	人数	構成比	人数	構成比
総入込客数	7,026	100.0%	9,588	100.0%
日 帰 り 客	6,904	98.3%	8,606	89.8%
宿 泊 客	122	1.7%	982	10.2%

【令和３年近畿圏パーソントリップ調査】

・観光が関連する自由目的における船舶の交通手段分担率は、平日が 0.5%、休日が 0.6%である。

表５－１４　船舶の交通手段分担率

平日

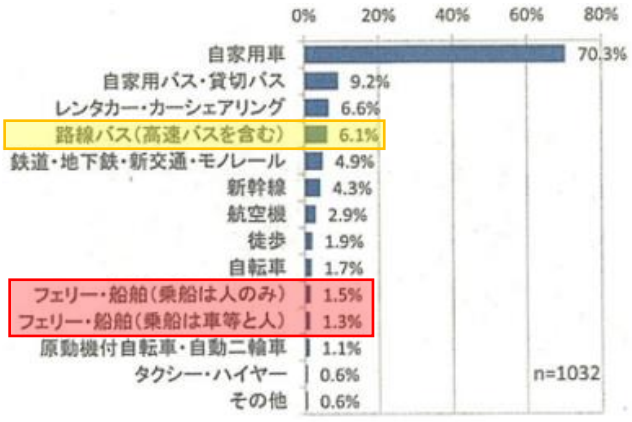
28226:兵庫県淡路市	１．出勤	２．登校	３．自由	４．業務	５．帰宅	６．不明	合計	自由の船舶利用割合
発生量	13,459	4,673	21,060	6,557	33,711	0	79,460	
うち船舶	283	346	121	0	104	0	854	0.6%
集中量	12,400	3,706	20,891	7,561	34,769	0	79,327	
うち船舶	171	0	104	380	750	0	1,405	0.5%
発生集中量	25,859	8,379	41,951	14,118	68,480	0	158,787	
うち船舶	454	346	225	380	854	0	2,259	0.5%

休日

28226:兵庫県淡路市	１．出勤	２．登校	３．自由	４．業務	５．帰宅	６．不明	合計	自由の船舶利用割合
発生量	3,286	324	36,840	3,408	32,373	0	76,231	
うち船舶	0	0	189	0	326	0	515	0.5%
集中量	3,466	324	44,115	4,205	24,322	0	76,432	
うち船舶	0	0	326	0	0	0	326	0.7%
発生集中量	6,752	648	80,955	7,613	56,695	0	152,663	
うち船舶	0	0	515	0	326	0	841	0.6%

【国土交通省「高速バスの利用促進に向けた調査」（2016 年度）】

・フェリー・船舶（乗船は人のみ）が 1.5%、フェリー・船舶（乗船は車等と人）1.3%であり、この２つを合わせるとフェリー・船舶は 2.8%となる。



合計 113.0%（複数回答）

図５－１５　淡路地域への来訪者の移動手段

(3) 来訪者全体からみた分析

①観光入込客数と利用交通手段

・淡路ジェノバラインの普通券の販売枚数と令和４年度アンケート調査から試算すると、淡路北部地域の観光入込客の船舶利用率は 1.5%程度と想定される。

表５－１５　販売枚数ベース試算（１）

		年間(人/年)	一日（人/日）	④観光客利用		⑤船舶利用率
①観光入込客数（R3）		7,026,000	19,249	年間(人/年)	一日（人/日）	
②年間販売枚数(R3)	明石→岩屋	154,102	422	107,717	295	1.5%
	岩屋→明石	155,663	426	108,808	298	1.5%
	計	309,765	849	216,526	593	
③観光割合	69.9%	※③観光割合は、令和4年度の海上ルート調査の問1より設定。				

（試算の仕方）

１．②年間販売枚数(R3)(明石→岩屋)　×　③観光割合※　＝④観光客利用者

154,102 枚　×　69.9%※　＝　107,717 枚

※③観光割合は、令和４年度の海上ルート調査の問１より設定。

２．④観光客利用者　÷　①観光入込客数　＝　⑤船舶利用率

107,717 枚　÷　7,026,000 人　＝　1.5%

３．吟味

・⑤船舶利用率 1.5%は、国土交通省「高速バスの利用促進に向けた調査」(2016 年度)における交通手段調査の「フェリー・船舶(乗船は人のみ)」の分担率 1.5%とほぼ同様である。

・「国土交通省「高速バスの利用促進に向けた調査」(2016 年度)」の調査結果を踏まえると、観光客の淡路北部地域への利用交通手段は、概ね次のような割合と推察される。

（試算の仕方）

1.「国土交通省「高速バスの利用促進に向けた調査」(2016 年度)」の交通手段のうち（重複回答：113.0%)、重複回答と考えられる交通手段を削除（全体で 95.4%に減少)。

2.　1 の結果、100%にするため、その他・不明を設定（4.6%）

3.　その他・不明（4.6%）を各交通手段の構成比で割り振り、全体と 100%とする。

表５－１６　観光入込客数と利用交通手段の想定

交通手段	構成比	観光客数(R3ベース)	
		人/年	人/日
自家用車	73.7%	5,178,000	14,200
レンタカー・カーシェアリング	6.9%	486,000	1,300
自家用バス・貸切バス	9.6%	678,000	1,900
路線バス(高速バス等)	**6.4%**	**449,000**	**1,200**
フェリー・船舶	**1.6%**	**110,000**	**300**
タクシー・ハイヤー	0.6%	44,000	100
原動機付自転車・自動二輪	1.2%	81,000	200
合計	100.0%	7,026,000	19,200

②淡路ジェノバライン利用の月別動向

・令和３年度では、新型コロナウイルス禍の影響があったため、５月の観光客は少なかったと想定される。ちなみに、淡路地域の観光入込客数の月別動向とは類似した動きとなっている。

表５－１７　淡路ジェノバライン利用の月別動向の想定

【淡路ジェノバライン利用観光客】　　【淡路地域観光入込客数】

年度	月	観光客（人）	構成比	月	淡路地域（千人）	構成比
令和3年度	4月	8,000	7.3%	4月	670	7.0%
	5月	7,800	7.1%	5月	464	4.8%
	6月	7,900	7.2%	6月	494	5.2%
	7月	10,900	9.9%	7月	817	8.5%
	8月	9,900	9.0%	8月	900	9.4%
	9月	9,400	8.5%	9月	724	7.6%
	10月	12,100	11.0%	10月	1,025	10.7%
	11月	10,700	9.7%	11月	1,115	11.6%
	12月	10,600	9.6%	12月	860	9.0%
	1月	6,700	6.1%	1月	1,003	10.5%
	2月	5,300	4.8%	2月	541	5.6%
	3月	10,700	9.7%	3月	976	10.2%
	合計	110,000	100.0%	合計	9,589	100.0%

（試算の仕方）

１．年間販売人数(R3)(明石→岩屋)　―　想定観光客数　＝　観光客以外利用者
　　154,102 人　―　110,000 人＝　44,102 人

２．観光客以外利用者　÷12 か月　＝　月平均観光客以外利用者
　　44,102 人　÷12 か月　＝　3,675 人/月

３．月別販売人数　―　月平均観光客以外利用者（3,675 人/月）＝　月別観光客数

【分析結果のまとめ】

○令和３年度で、淡路北部地域を訪問する観光客は、約 700 万人、一日当たり約２万人。
○明石港から航路で淡路北部地域を訪問する観光客は、年間約 11 万人、一日当たり約 300 人で全体の 1.6%。
○高速バス等で淡路北部地域を訪問する観光客は、年間約 45 万人、一日当たり約 1,200 人で全体の 6.4%。
○航路利用者は高速バス等利用者の約 1/4、航路利用者の約４倍が高速バス利用者。
○公共交通（航路、高速バス、タクシー等）を利用の観光客は、全体の約１割未満。
○7 割強が、自家用車（マイカー）による訪問。約１割が貸切バス等による訪問。
○淡路ジェノバライン利用観光客と淡路地域観光入込客数の月別変動は、同様の傾向。
※以上の分析結果より、2 箇年の航路利用者アンケート調査は、観光客全体の動向からみて妥当な調査結果である（取得したサンプルに極端な偏りのない調査）と考えられる。
※令和 4 年度のアンケート調査は繁忙期の状況、令和 5 年度のアンケート調査は閑散期の状況を捉えていると推察される。

６．社会実験の効果検証

6.1　社会実験の取組の効果検証

（1）交流人口の拡大に関する検証

①1day 切符の販売枚数の検証

・12 月～1 月の 1day 切符販売枚数をみると、今年度は 176 枚（大人 168 枚、小人・身体障がい者 8 枚）で、令和 3 年度の 4.9 倍、令和 4 年度の 4.3 倍と大幅な増加となった。

表６－１　1day 切符の販売枚数の過年度比較【再掲】

	販売枚数	12 月	1 月	12～1 月計	4~1 月
令和 3 年度	大人	16	20	36	436
	小人・身体障がい者	0	0	0	40
	合計	16	20	36	476
令和 4 年度	大人	18	20	38	810
	小人・身体障がい者	0	3	3	56
	合計	18	23	41	866
令和 5 年度	大人	93	75	168	1,007
	小人・身体障がい者	5	3	8	69
	合計	98	78	176	1,076

②航路利用者数の検証

・社会実験期間の航路利用者数を昨年度（令和 4 年度）の同時期と比較し、航路利用者数が増加したかどうかを検証した。

・12 月～1 月については、旅客総数 92,889 人と令和 4 年の 95,106 人から微減となっているが、定期券利用者の減少がしており、定期券外の旅客数は令和 4 年からわずかに 628 人の減少となり 48,014 人となった。

表６－２　明石～岩屋航路の乗船券の販売枚数の推移【再掲】

	令和4年度（12月～1月）	令和5年度（12月～1月）	増減数	増減割合
①旅客総数	95,106	92,889	-2,217	0.98
②うち定期券利用者数	46,464	44,875	-1,589	0.97
③バイク	951	1,062	111	1.12
④自転車	1,911	1,809	-102	0.95
⑤定期券外（①－②）	48,642	48,014	-628	0.99

（2）航路の認知度向上の検証

①航路の認知方法

【航路利用者アンケート】（問６）

・観光目的については、「家族・友人・知人からの口コミ」と「インターネット」が多いが、令和４年度と比べると「その他」の割合が高くなった。

・「その他」では、「元々知っている」が多いが、「明石駅でポスターを見て」、「明石に到着して知った」、「明石港で見つけた」など明石に着いてから知った人も数人いた。

・この結果から、今回の情報発信の強化の取組が、航路の認知度向上に寄与したと考えられる。

表６－３　航路の認知方法（目的別）

	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計
1. テレビ	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
2. 雑誌	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 新聞・チラシ	1.2%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	1.3%
4. インターネット	29.3%	33.3%	10.5%	4.2%	9.1%	7.9%	15.9%
5. SNS（X・Instagram・Facebookなど）	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
6. 家族・友人・知人からの口コミ	34.1%	0.0%	23.7%	29.2%	22.7%	34.9%	30.6%
7. その他	29.3%	66.7%	65.8%	58.3%	68.2%	57.1%	50.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※複数回答（問6無回答除く）

目的	その他回答	回答者数	割合
観光	（地元・元地元等の理由で）元々知っている。	12	10.3%
	無回答	3	2.6%
	明石駅でポスターを見て。	2	1.7%
	移動手段として検索。	1	0.9%
	明石に到着して知った。	1	0.9%
	明石市観光パンフレット。	1	0.9%
	通学で利用していた。	1	0.9%
	最初は交通手段を調べて、その後は景観の良さなどの目的であえて利用している。250ccのバイクで来たい。	1	0.9%
	明石港で見つけた。	1	0.9%
	通勤で利用。	1	0.9%

表６－４　（参考）令和４年度調査結果

	観光	通学	通勤	仕事・業務	帰宅	その他	不明	合計
テレビ	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
雑誌	0.6%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
新聞・チラシ	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
インターネット	32.4%	14.3%	11.3%	18.2%	6.3%	8.7%	0.0%	25.9%
SNS	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
家族・友人・知人からの口コミ	43.1%	71.4%	32.3%	45.5%	18.8%	26.1%	100.0%	40.2%
その他	13.3%	0.0%	43.5%	22.7%	53.1%	56.5%	0.0%	21.8%
不明	3.5%	14.3%	11.3%	13.6%	21.9%	8.7%	0.0%	6.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
合計	346	7	62	22	32	23	3	495

②特典付き 1day 切符の認知方法

【航路利用者アンケート】（問 7、問 9、問 10）

・特典付き 1day 切符を「知っている」人は 25%で、「知らなかった」が 75%であった。

・「知っている」のうち、53%が「明石港の切符販売所」、37%が「淡路島内の観光施設のチラシ・ポスター」、16%が「その他施設のチラシ・ポスター」となっている。

・このことから、明石港をはじめ観光施設などに配置したチラシ・ポスターが特典付き 1day 切符の認知に大きく貢献したことが分かる。

・一方で、特典付き 1day 切符を「知らなかった」人の 78%が「明石港でポスターなどに気づかなかった」、59%が「淡路ジェノバラインや観光施設などのホームページや SNS は見なかった」としており、視覚的な情報を目にする機会がないと伝わりにくいといえる。

表６－５　特典付き花・食巡り 1day 切符の認知方法（目的別）【再掲】

	1. 観光	2. 通学	3. 通勤	4. 仕事・業務	5. 帰宅	6. その他	合計	割合
1. 明石港の切符販売所	10	0	4	9	1	6	30	52.6%
2. 淡路島内の観光施設のチラシ・ポスター	3	0	6	7	0	5	21	36.8%
3. その他施設のチラシ・ポスター	3	0	4	0	0	2	9	15.8%
4. 旅客船事業者（淡路ｼﾞｪﾉﾊﾞﾗｲﾝ）のホームページ・SNS（X・Instagram・Facebookなど）	0	0	0	0	1	1	2	3.5%
5. 淡路島観光協会・淡路市商工会のホームページ	1	0	0	0	0	0	1	1.8%
6. 淡路島内の観光施設のホームページ	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7. その他のホームページやＳＮＳの記事	1	0	0	1	0	0	2	3.5%
8. 新聞等の記事	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9. 友人や知人からの口コミ	0	0	1	0	0	0	1	1.8%
10. その他	0	0	3	3	1	1	8	14.0%
合計	18	0	18	20	3	15	74	129.8%
回答者数	16	0	14	13	3	11	57	100.0%
無回答	0	0	0	0	0	1	1	58

【1day 切符利用者アンケート】（問 3）

・特典付き 1day 切符を知ったのは、回答者の 40%が「明石港の切符販売所」としている。そのほか、「その他のホームページや SNS の記事」が 21%、「旅客事業者(淡路ジェノバライン)のホームページ・SNS」が 17%と回答している。

・このことから、明石港に配置したチラシ・ポスターなどが特典付き 1day 切符の認知に大きく貢献したことが分かる。また、旅客船事業者のホームページなどネット上で特典付き 1day 切符の情報を得ていることから、旅客船事業者をはじめとした関係団体における PR の展開が功を奏したと考えられる。

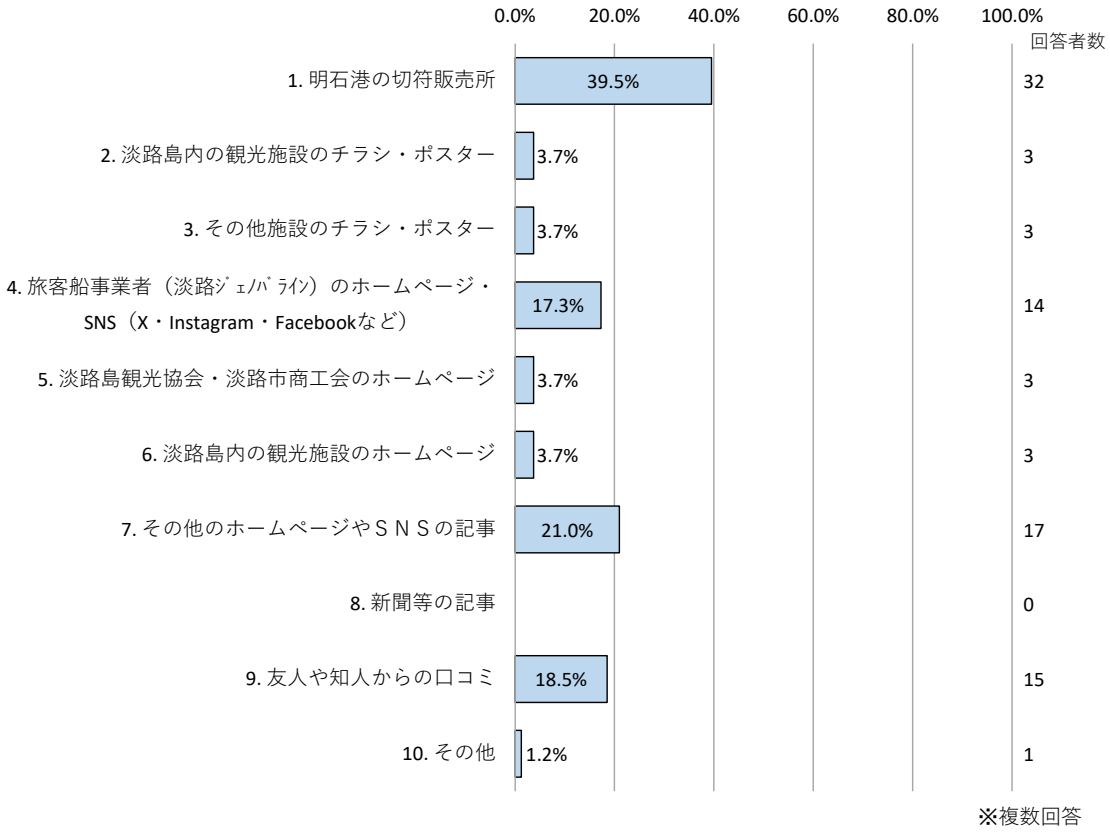


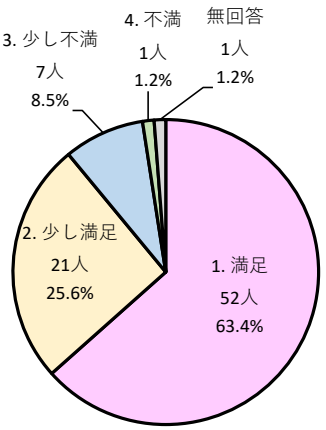
図６－１　特典付き 1day 切符の情報取得の場所・方法【再掲】

(3) 特典付き 1day 切符の満足度検証

①切符利用の旅の満足度

【1day 切符利用者アンケート】(問 2)

・回答者の 63%が「満足」、26%が「少し満足」と回答しており、約 9 割が今回の旅に満足している。また、「満足」している人の 79%が「船旅が良かった」と回答しており、明石～岩屋航路そのものが旅を満足させる要因となっている。



（満足の理由）　対象数：80

	回答者数	割合
1. 船旅が良かった	49	79.0%
2. バス旅が良かった	35	56.5%
3. 特典が良かった	10	16.1%
4. その他	4	6.5%
合計	98	158.1%
回答者数	62	100.0%
無回答	18	

※複数回答

図６－２　観光の旅の満足度【再掲】

②切符の料金の評価

【1day 切符利用者アンケート】（問 4）

・回答者の 84%が「料金が割引になり良かった」と現行の料金に満足しており、利用者は概ね妥当な割引と捉えている。

「2. もう少し割引がある方が良かった」の内訳

	回答者数
230円	1
300円	1
700円	1
1,000円	3
1,300円	1
1,500円	3
無回答	1
合計	11

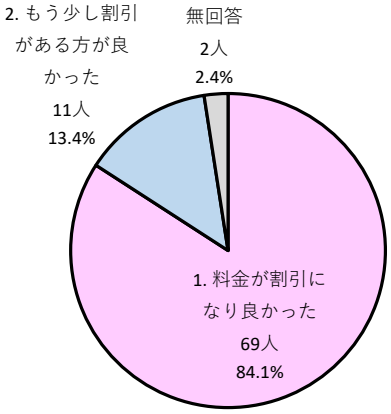


図６－３　特典付き 1day 切符の料金に対する評価【再掲】

③特典サービスの評価

【1day 切符利用者アンケート】（問 5、問 6、問 7）

・特典サービスの「利用した」人は 37%、「利用しなかった」人は 59%と、特典サービスを利用しなかった人の方が多かった。

・特典サービスの利用は、「飲食店」が 77%と最も多く、次いで「土産店」が 27%、「観光施設」が 17%となっている。

・一方、利用しなかった理由は、「利用したかったが、利用する時間がなかった」が 44%と最も多く、次いで「利用したい特典サービスがなかった」が 29%となっている。

・この結果から、特典サービスの付与の取り組みが、1day 切符の利用を促進させると推察される。

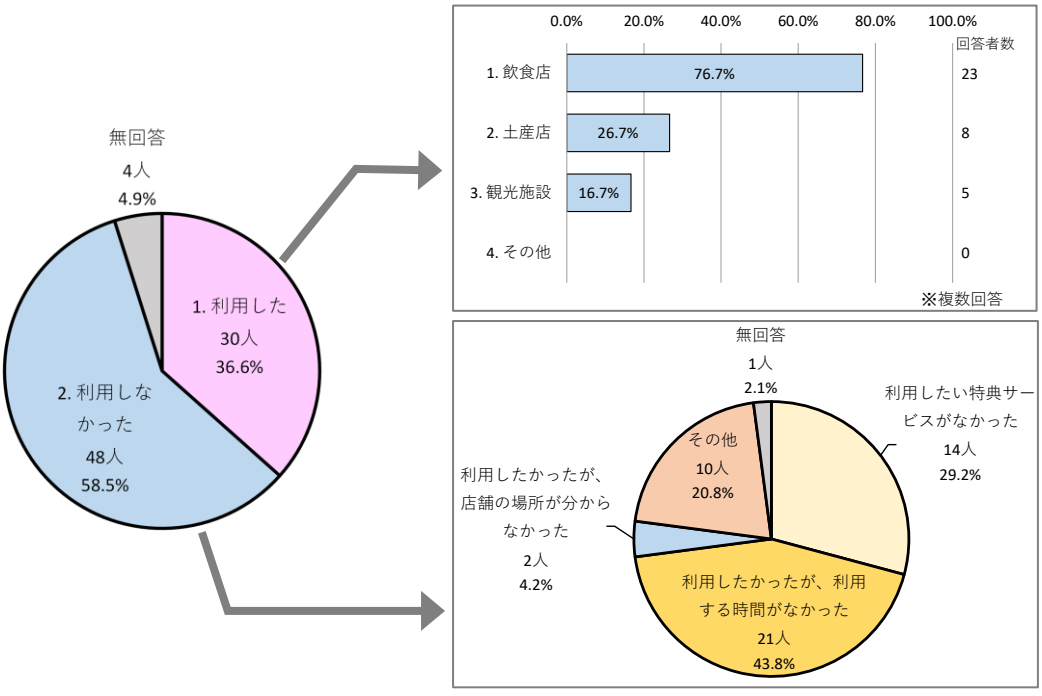


図６－４　特典サービスの利用状況と利用場所、利用しなかった理由【再掲】

④特典付き 1day 切符の改善点

【1day 切符利用者アンケート】(問 9)

・特典付き 1day 切符の改善点については、37 人から 39 件の意見があった。内容をみると、スマホやネットを活用した切符購入方法の充実、2 日間使える切符などの改善案、英語の案内など案内情報の充実、特典サービスの充実、バスの運行本数の充実に関する意見があった。

表６－６　特典付き 1day 切符の改善点（要点整理）

分類	自由意見
切符の購入（9 件）	・スマホのアプリで利用出来たら良い。
	・ネットで購入できたらよい。
	・ネットで購入できて、スマホ画面提示等で対応すると使いやすい。
	・電子チケットにするとよい。※
	・クレジット決済ができると便利。
	・paypay 等、現金以外で購入できると良い。
	・キャッシュレス対応とスマホ画面での完結。
	・自販機で購入できると便利。
	・明石港の券売機で販売してほしい。
切符の運用（9 件）	・2day パスがあると良い。洲本や南あわじとも連携してほしい。
	・2day パスにして中身を充実させてほしい。
	・2day パスがあればさらに良い。
	・2 日以上使えるとよい(1 日ではあまり回れない)。※
	・年齢による料金差の記載があってもよかった。
	・特典なしの 1day 切符を値下げして販売してほしい。
	・緑の季節、花のたくさんの時期(の特典サービス)なら嬉しい。
	・岩屋ポートターミナルの施設でも特典があれば良かったように感じた。
	・ネット上でできるようにして欲しい。紙媒体の提示は面倒。
案内情報（6 件）	・モデルコースがあれば良いのではないでしょうか。
	・PR をたくさんしてほしい。
	・バス乗り場がわかりにくい。
	・もっと広まってほしい。
	・英語の案内があればなお良い。
	・花巡りの PR が少ない。
特典サービス（8 件）	・飲食の食べ物を追加してほしい。
	・使えるお店の時間帯が長いとよい。
	・岩屋ポートターミナルの土産店の割引特典。
	・特典サービスの使い方がわからなかった。
	・使い方をわかりやすくしてほしい。
	・実施期間をもう少し長くして欲しい。
	・さらに 500 円程度のクーポンがあればよい。
	・もっと値段が安いところで特典がほしい。
バスの運行（6 件）	・本数がもっとあるとよい。
	・もう少し本数があると移動が便利。
	・17 時以降の移動手段が限られる。何らかの移動手段があればよい。
	・北部観光ルートを冬の間も運行してほしい。
	・混雑するゴールデンウイーク時は、臨時対応してほしい。
	・バスの窓にシール貼りすぎて、景色が見えないので減らしてほしい。※
その他（1 件）	・非常に使いやすくて満足している。

※は、同一の人の複数の意見

（4）取組の協力体制等の検証

①特典サービスの協力店舗

・「1 day 切符」の特典サービスの協力店舗は、46 店舗に達した。数多くの店舗に協力いただいた。

②情報発信への協力状況

・情報発信についても、関係者の協力により、チラシ約 3,900 部（当初 3,500 部印刷し、のちに約 400 部を追加)、ポスター60 部を配布した。

③協力施設の意見・要望

【協力施設利用者数】

・特典サービスの利用者数については、30 店舗から回答があり、このうち特典サービスの利用があった店舗は 6 店舗で、利用者数は 25 人となっている。なお、1day 切符利用者アンケート調査においては、特典サービス利用者は 30 人となっている。

【協力施設の意見要望】

・協力施設へのアンケート調査を実施し、社会実験についての意見・要望を把握した。

・アンケート調査の回答店舗の総数は 27 店舗（46 店舗の 59%）であった。ただし、複数店舗を 1 つにまとめて回答しているところもあるので、回答件数は 15 件となっている。

① 今回の社会実験は利用者には好評でしたが、協力店舗様は参加して良かったですか。

・社会実験への参加については、「良かった」が 27%、「どちらでもない」が 40%、「あまり良くなかった」が 13%、「良くなかった」が 20%となっている。

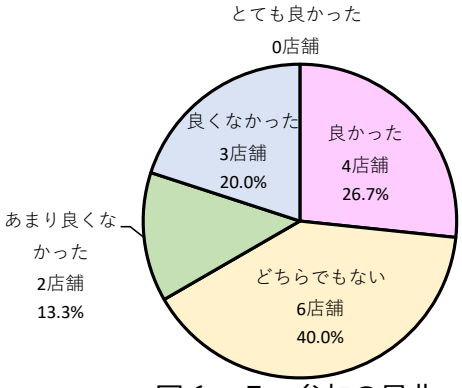
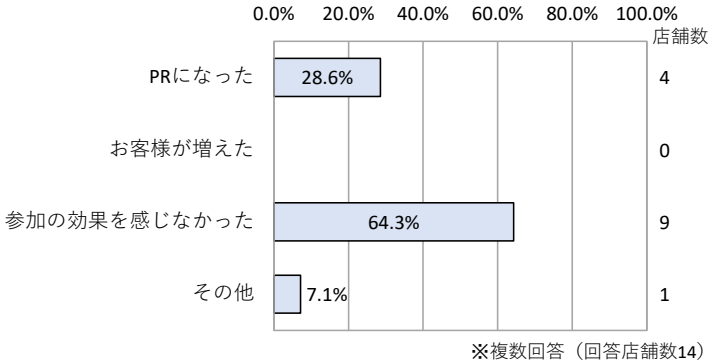


図６－５　参加の是非

② ①の回答を選択した理由を教えてください。（複数回答可）

・参加により「PR になった」が 29%、「参加の効果を感じなかった」が 64%となっている。



※複数回答（回答店舗数14）

図６－６　参加の是非の理由

＜参考＞　①と②のクロス集計

	PRになった	お客様が増えた	参加の効果を感じなかった	その他	合計
とても良かった	0	0	0	0	0
良かった	4	0	0	0	4
どちらでもない	0	0	4	1	5
あまり良くなかった	0	0	2	0	2
良くなかった	0	0	3	0	3
合計	4	0	9	1	14

③　今後、同様の企画があれば参加したいですか。

・今後の同様の企画への参加については、「参加したい」が 60%、「どちらでもない」が 40%となっている。

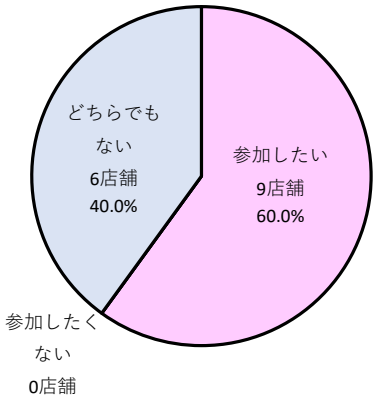


図６－７　今後の同様の企画への参加

＜参考＞　①と③のクロス集計

	参加したい	参加したくない	どちらでもない	合計
とても良かった	0	0	0	0
良かった	4	0	0	4
どちらでもない	4	0	2	6
あまり良くなかった	0	0	2	2
良くなかった	1	0	2	3
合計	9	0	6	15

④　今後、同様の企画を行う場合、どのような点を改善する必要があると思いますか。（複数回答可）

・今後の同様の企画での改善点については、「実施時期」が 50%、「PR 方法」が 43%、「利便性（切符の電子化、使用日数等)」が 43%となっている。

・「実施時期」については、5 月から 9 月を要望する意見と 12 月から 2 月などのオフシーズンを要望する意見があった。

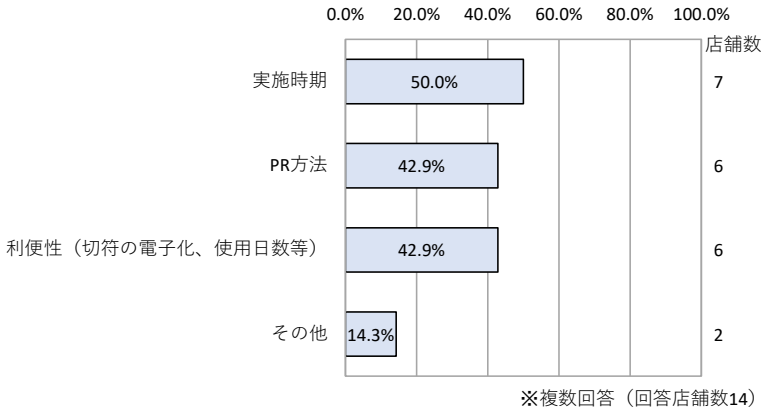
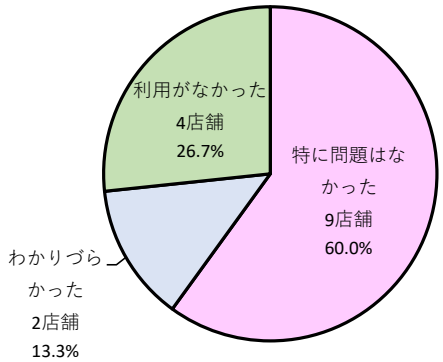


図６－８　今後の同様の企画での改善点

⑤　1day 切符を提示することで特典サービスを提供する手順はどうでしたか。

・特典サービスの提供手順については、「特に問題はなかった」が 60%、「わかりづらかった」が 13%、「利用がなかった」が 27%となっている。



※選択肢にはないが、「利用がなかった」との回答があったため選択肢に追加。

図６－９　特典サービスの提供手順

＜参考＞　①と⑤のクロス集計

	特に問題はなかった	わかりづらかった	利用がなかった	合計
とても良かった	0	0	0	0
良かった	3	0	1	4
どちらでもない	3	1	2	6
あまり良くなかった	1	0	1	2
良くなかった	2	1	0	3
合計	9	2	4	15

⑥　特典サービスの提供手順に関して、改善点等ございましたらご記入ください。

・特典サービスの提供手順に関する意見は 5 件であった。従業員への周知に時間を要したとの意見や、特に問題がなかったとの意見があった。

表６－７　特典サービスの提供手順に関する意見

	ご意見等	①の回答
意見 1	・対応する従業員に向けて周知するためのインフォメーションをこちらで準備する必要になりますが、メカニズムなどを理解するのに時間がかかりました。 ・つまり、わかりにくかったということだと思います。	良くなかった
意見 2	・レストランなので、ご来店時もしくはお食事をご注文時に切符の提示をしていただければトラブルはないと思います。	良かった
意見 3	・利用者がいなかったので、評価できない。	どちらでもない
意見 4	・提供手順に関しては、他の優待サービスなどと変わらないため、オペレーションに問題は無かったです。	どちらでもない
意見 5	・データが少なく検証できませんでした。	良かった

今回の取り組みに関しまして、ご意見等ございましたらご記入ください。

・今後の取り組みに関する意見は 8 件であった。利用客が少ないことについての意見や、今後も続けてほしいという意見があった。

表６－８　今後の取り組みに関する意見

	ご意見等	①の回答
意見 1	・当施設への特典サービス利用は 2 か月間で「ゼロ」でした。この件は、今回の取り組みのせいというよりも、当施設の問題ととらえています。	良くなかった
意見 2	・当館の場合は休館日もあり、お客様が利用しづらい状況もあったかと存じます。できる限り早く解消できるよう、努めて参ります。	良かった
意見 3	・バス停から遠い立地のせいもあるのか、ご利用が皆無でした。お骨折りいただきましたのに、力不足で申し訳ありませんでした。	どちらでもない
意見 4	・思っているよりも淡路市だけでも移動距離があり、時間がかかります。宿泊をされる方にも対象のものがあれば、JR、私鉄などご利用の方にももっと使っていただけるのではないかと思います。	良かった
意見 5	・船だけではなく、高速バスの利用も含めた方が良い。また、チケットが淡路市内でも購入できれば、地元の方も利用できるので利便性が良くなる。数日間利用可能であれば、活用可能になるのではないでしょうか。	どちらでもない
意見 6	・1day 切符での個人店ではお客様が全く来ていただけなかったので、意味がなかった。	良くなかった
意見 7	・花博などイベントと連動して実施などで知名度や利用者を増やせる可能性はあると思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。	どちらでもない
意見 8	・またこのようなお話ございましたらぜひお声掛けくださいませ。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。	良かった

（5）社会実験全般に関する検証

①淡路島の観光全般に対する意見

【1day 切符利用者アンケート】（問 11）

・淡路島の観光全般に対する意見は、33 件あった。内容をみると、英語案内の増加、観光の PR の充実といった意見や、バスの運行本数の増加、バス停の改善、淡路観光や 1day 切符利用に対する高評価があった。

表６－９　淡路島の観光全般に対する意見【要約】

分類	自由意見
案内情報 (7 件)	・英語の案内を増やしてほしい。
	・外国人向けに英語の案内を増やしてほしい。
	・風土を活かしたプレゼンテーションをしてほしい。 ・分断感が否めないので、島全体を使用できたらよい。
	・様々な移動手段や観光地があることを PR してほしい。
	・路線バスと高速バスのバス停の位置関係が明確だと良い。バス停マップがほしい。
	・バス車内の映像広告に面白そうな施設が複数あった。外部に発信すればよい。
	・神戸からの陸路以外のルートも知りたい。
バスの運行 (18 件)	・バスの本数が少ないので 1 時間に 2～3 本に増やしてほしい。
	・バスを 30 分に 1 本くらいに増やしてほしい。 ・北部観光周遊回りを通年にしてほしい。
	・1 時間に 1 本なので、バスの待ち時間が多かった。
	・バスの本数を増やしてほしい。
	・バスの本数が多いと良い。
	・兵庫県立淡路島公園行きのバスがなくて残念。
	・公共の交通機関がもう少し増えると移動がしやすいです。
	・冬の観光は風が強いとバス待ちがつらい。バス停の工夫をしてほしい。
	・バスと船の乗継時間がもう少し短くなるとうれしい。
	・航路とバスの乗り継ぎ待ち時間が長いのでダイヤ改善してもらえるとよい。
	・バンバンバスとあわ神あわ姫バスの接続を改善してほしい。
	・観光地を結ぶバスがあればいい。
	・大塚美術館や人形浄瑠璃、うずしおなどに手軽に行けるようにしてほしい。
	・交通経路（の案内充実）
	・モデルコースのようなものがあるとわかりやすい。
	・バス停を綺麗にするとよい（待合室が汚い、ベンチが壊れている）
	・路線バス、コミュニティバス、高速バスのすべての乗り放題切符がほしい。
	・喫煙所を増やしてほしい。 ・ハイウェイオアシスに自家用車以外でスムーズにいけるルートがあればよい。
その他 (高評価) （6 件）	・とても神秘的で最高でした。
	・皆さん親切だった。
	・行ったことのない所へ行けた。
	・船で安く行けてとても良かった。バスは予約が必要だが、船は気負わずに乗ることができた。
	・最近お店が増えて活気が出てきて良いと思う。
	・冬の淡路島も見どころが多くて良い。来年もぜひ実施してほしい。
その他 (2 件)	・岩屋港周辺の整備が待ち遠しい。
	・公共交通では行けない場所がまだまだ多い一方、元から公共交通で行ける場所へのバスの新設があるので、共倒れになるのではないか。

【航路利用者アンケート】（自由意見）

・明石～岩屋航路や淡路島の観光に対する意見は、64 件あった。内訳を見ると、航路関連が 30 件、観光関連が 17 件、バスの運行関連が 5 件などであった。

・航路については、「便数を増やしてほしい」との意見が 19 件と最も多かった。観光関連では「楽しかった、良かった」など好意的な意見が 10 件と最も多かった。

表６－１０　自由意見の集約

分類	主な意見
航路関連(30 件)	・便数を増やしてほしい(19 件)
	・バイクをもっと載せられるようにしてほしい（3 件)
	・航路を継続してほしい(4 件)
	・料金が高い(1 件)
	・定期券の購入、運用を便利にしてほしい(2 件)
	・その他（終始、大型船を運行してほしい）(1 件)
バス関連(5 件)	・料金が高い(2 件)
	・運行本数が少ない、他のバスと合わせにくい(2 件)
	・バス乗り場、行先が分かりにくい(1 件)
案内情報(2 件)	・もっと PR・情報発信してほしい(2 件)
道路関連(3 件)	・自転車道を整備してほしい(3 件)
交通一般（4 件)	・交通の便を良くしてほしい(2 件)
	・料金が高い(1 件)
	・その他（しずき便を運航してほしい）(1 件)
観光関連(17 件)	・楽しかった、良かった、良くなった（10 件)
	・岩屋周辺を整備してほしい。コンビニが欲しい(3 件)
	・店が閉まる時間が早い(2 件)
	・英語表記がない(1 件)
	・その他（観光船が冬季休業中）(1 件)
その他(3 件)	・ゴミは持ち帰ってほしい(1 件)
	・感謝の言葉など(2 件)

6.2　高付加価値化の改善方策の提案

（1）社会実験から得た知見からの提案

①1day 切符販売枚数の増加方策

・今年度の社会実験期間の 1day 切符販売枚数の増加は、航路の高付加価値化（1day 切符の特典サービスの付与と情報発信（チラシ・ポスター・HP 等）の強化）によるものと考えられる。

→これまでは、1day 切符の PR が足りなかったと考えられる。交通事業者をはじめとする関係者で適切な PR を継続的に実施する必要がある。

②航路及び特典付き 1day 切符の認知方法の改善

・明石港をはじめ観光施設などに配置した特典付き 1day 切符のポスターやチラシ等、今回の情報発信の強化の取組が、航路の認知度向上、1day 切符の認知に大きく寄与したと考えられる。

→視覚的な情報を目にする機会を創り出していくことが、航路利用の増加につながる。

→明石駅前や明石港でのポスターが活用されていることから、明石駅前や明石港等における PR の充実を行う必要がある。その際には、「シンプルで分かりやすく」伝えることが重要となる。

→1day 切符の利用促進には、明石港の待合室での音声アナウンスによる PR も考えられる。

③航路及び特典付き 1day 切符の満足度向上のための方策

・９割以上が今回の旅に満足し、「船旅が良かった」と回答しており、明石～岩屋航路そのものが旅を満足させる要因となっている。

・岩屋港～道の駅付近を観光めぐりする人が比較的多い（利用者アンケート問 2）。

→船旅が高く評価され、岩屋港周辺をめぐる人が多いことから、手軽な旅としての航路利用が推察される。このため、「船旅の良さ」と岩屋港周辺観光施設の PR と岩屋港周辺で楽しめる観光スポット、飲食スポットの創出を行う必要がある。

→バス旅についても半数以上が満足しているが、更なる満足度向上のためにスマートフォン等で確認できるバスロケーションシステムの導入による待ち時間への対応、バス車内での外国語案内などの工夫をしていくことが必要である。

・1day 切符利用者のうち、特典サービスを利用した人が 4 割おり、利用しなかった人でも「利用したかった」が 7 割以上いることから、特典サービスの付与が 1day 切符の利用を促進させると推察される。

→特典サービスの付与が PR に効果的であることが分かった。このことから、今後も、特典サービスの付与等、1day 切符の高付加価値化を継続することが必要である。

・特典付き 1day 切符の改善については、特典サービスの充実、スマホやネットを用いた切符の購入、切符の運用日数の延長、外国語案内など案内情報の充実などの意見があった。

→上記の改善意見については、今後出来るところから、実現に向けて取り組みを図っていくことが必要である。

→1 day 切符の利用者増加を図るために、魅力的なモデルコースを作成することも効果的であると思われる。なお、行政の場合、公平性の確保等から魅力的なモデルコースを作成することが難しい場合がある。このため、例えば一般公募による利用者目線のモデルコース作成などが考えられる。

④取組の協力体制の構築・強化

・「1 day 切符」の特典サービスの協力店舗は、46 店舗であった。また、各関係者の協力により、ホームページや SNS での情報発信、観光施設へのチラシ・ポスターの配布を実施した。

→淡路島北部地域の交流人口の増加を図るための取組として、今回の取組の成果を踏まえ、自治体や観光協会をはじめ検討委員会メンバーや協力いただいた店舗など多様な関係者と連携できる協力体制を構築し、体制の強化を図っていくことが必要となる。

・協力施設へのアンケート調査では、6 割が今後も同様の企画に「参加したい」との意向が示されている。実施に際しては、実施時期、PR 方法、利便性（切符の電子化、使用日数等）を改善する方が良いとの意見があった。

→6 割の協力施設で参加意向があることから、今後も実施時期や PR 方法等を改善し、「割引サービス」の継続的な取組を検討していくことが望まれる。

⑤社会実験の検証結果を踏まえた観光情報の発信

◇淡路島の観光全般に対する意見

【1day 切符利用者アンケート】（問 11）

・淡路島の観光全般に対する意見は 33 件あり、淡路観光や 1day 切符利用に対する高評価があった。また、英語案内の増加、観光の PR の充実といった意見もあった。

【航路利用者アンケート】（自由意見）

・明石～岩屋航路や淡路島の観光に対する意見は 64 件あり、観光関連では「楽しかった、良かった」など好意的な意見が 11 件と多かった。

→淡路島の観光に対する好意的な意見が多いことから、観光地としてのポテンシャルは高いと推察される。このため、今後、航路と観光の情報発信を更に強化していく必要がある。

→外国人利用者を踏まえ、多言語案内情報の充実を図る必要がある。その際には、外国人ライターの活用など外国人に分かりやすい情報提供が望まれる。

（2）活性化方策の進捗状況の整理

・明石～岩屋航路の活性化策の進捗状況を整理すると、今年度はこれまでに下表に示す取組を行っている。

表６－１１　明石～岩屋航路の活性化策の進捗状況

基本方針	活性化の方向性	活性化方策	進捗状況
（1）明石～岩屋航路の選択可能性の向上	①明石～岩屋航路の認知度向上	●**観光施設や宿泊施設における航路情報の発信・充実**	・淡路夢舞台、淡路グリーン館、ニジゲンノモリ等のHPにおいて情報を掲載
		●自治体・観光協会・商工会における航路情報の発信・充実	・淡路市、淡路市商工会のHPにおいて、「特典付き花・食巡り1day切符」情報を掲載 ・淡路島サイクルツーリズム、シクリズムアワジ等のHPにおいて情報を掲載
		●淡路島の公共交通検索システムの導入	・淡路島の公共交通を全てカバーした乗り換え検索アプリ「busmo（バスモ）」を2023年7月に導入
		●SNSなどを活用した情報発信	・淡路ジェノバラインのSNS(X)において船上からの景色等を随時情報発信
	②明石～岩屋航路の情報充実	●航路の魅力を伝える情報の発信 ●岩屋PTからの観光地へのアクセス情報の発信 ●明石港周辺の観光地情報の発信	・淡路ジェノバラインのSNS(INSTAGRAM)において「特典付き花・食巡り1day切符」を情報発信 ・淡路ジェノバラインのHPにおいて、地元のレンタカー事業者やカーシェア事業者のバナーを掲載
	③イベントやGW等の多客期における航路利用の促進	●**高速道路の渋滞が予想されるGW等の多客期における航路利用の促進**	・パソナグループが運用しているウェブサイト「淡路島西海岸」において連休時の航路利用を呼びかけ
（2）明石～岩屋航路の“観光航路”としての魅力の創出	①“観光航路”としての魅力の創出	●淡路島北部地域の観光施設との連携	・淡路島北部施設の観光施設、宿泊施設及び飲食店等と連携し、「特典付き花・食巡り1day切符」の社会実験を実施
		●観光案内の船内放送等の実施	
	②航路利用による特典の充実	●**淡路島側での特典充実**	・淡路島北部施設の観光施設、宿泊施設、飲食店等と連携し、「特典付き花・食巡り1day切符」の社会実験を実施
		●明石側での特典充実	・グランドニッコー淡路が、「海峡のまち」明石散策プランとして、魚の棚商店街周辺の店舗で利用できる特典クーポン（もぐチケ）付き宿泊プランを販売
	③ツアーにおける航路利用の促進	●航路(既存ダイヤ)を利用したツアーの創出	・明淡商店街のHPにおいて、橋を見上げるミニクルージングの魅力を発信

基本方針	活性化の方向性	活性化方策	進捗状況
(3) 岩屋 PT 発着バスの利便性向上	①岩屋 PT 発着バスの案内情報の改善	●バス発着場所、バス路線の案内充実	・現在の岩屋 PT バス停は仮設運用（令和 6 年 9 月工事完了予定） ・案内表示は、今後とも担当課と協議予定
		●明石港における岩屋 PT 発着バスの案内	
	②岩屋 PT 発着バスの運行改善等	●岩屋 PT 発着バスの運行ダイヤの見直し	
(4) 明石～岩屋航路の利便性の向上	①運賃支払い方法の見直し･改善	●IC カード、電子マネー等の取り扱い改善	
	②運航ダイヤの見直し･改善	●明石～岩屋航路の増便	・連休等の繁忙期において、増便を実施
		●自転車・バイクの積み残し防止	
	③明石港の待合室の整備改善	●待合室の整備改善	
(5) 明石～岩屋航路と高速バスの連携強化	①航路と高速バス利用のモデルコースの設定	●航路と高速バスを利用するモデルコースの設定	

(3) 高付加価値化の改善方策の提案

・社会実験から得た知見、および活性化方策の進捗状況の整理結果を、令和 4 年度調査で整理した活性化方策に追加した（次ページ参照）。

・それぞれの活性化方策を今後とも推進していくための方策を提案した。

表６－１２　明石～岩屋航路の活性化策

基本方針	活性化の方向性	活性化方策（青文字は今回追加した方策）	活性化方策の実施に向けた課題･動向	実施主体	進捗状況
(1) 明石～岩屋航路の選択可能性の向上	①明石～岩屋航路の認知度向上	●観光施設や宿泊施設における航路情報の発信・充実 ・淡路島北部の観光施設や宿泊施設ホームページにおける航路案内の充実	・観光客目線での情報提供 ・航路の存在や魅力を伝える情報コンテンツ	・観光施設・宿泊施設	・淡路夢舞台、淡路グリーン館、ニジゲンノモリ等のHP において情報を掲載
		●自治体・観光協会・商工会における航路情報の発信・充実 ・モデルコースにおける航路の活用事例の掲載 ・サイクリング関連のウェブサイトなどでの航路情報の発信、など	・観光客目線での情報提供 ・航路の存在や魅力を伝える情報コンテンツ	・自治体・観光協会・商工会	・淡路市、淡路市商工会のＨＰにおいて「特典付き花・食巡り 1day 切符」情報を掲載 ・淡路島サイクルツーリズム、シクリズムアワジ等のHP において情報を掲載
		●淡路島の公共交通検索システムの導入 ・淡路島全体の公共交通検索機能の利便性向上	・検索システムの外国語版の要望あり	・自治体・観光協会	・淡路島の公共交通を全てカバーした乗り換え検索アプリ「busmo（バスモ）」を2023 年 7 月に導入 令和 6 年度英語表記対応予定
		●SNS などを活用した情報発信 ・航路の良さを発信してもらうための工夫	・インセンティブの付与に関しては、旅客船事業者や観光協会との連携・調整	・旅客船事業者・観光協会	・淡路ジェノバラインのSNS(X)において船上からの景色等を随時情報発信
	②明石～岩屋航路の情報充実	●航路の魅力を伝える情報の発信 ・明石海峡大橋を眺める魅力、夜景の美しさなど航路自体の魅力情報の発信 ・「船旅の良さ」を伝える PR	・観光客目線での情報提供 ・ホームページ管理、SNS での情報発信を継続的に行う体制	・旅客船事業者	・淡路ジェノバラインのSNS(INSTAGRAM)において「特典付き花・食巡り 1day 切符」を情報発信 ・淡路ジェノバラインの HP において、地元のレンタカー事業者やカーシェア事業者のバナーを掲載
		●岩屋 PT からの観光地へのアクセス情報の発信 ・バスやレンタサイクル、レンタカーの情報発信			
		●明石港周辺の観光地情報の発信 ・地元商店街の魅力情報の発信			
		●明石側での情報発信 ・明石駅、観光案内所、商店街での PR （ポスターの掲示、チラシの配布等）	・情報発信ツールの作成 （ポスター、チラシ）	・旅客船事業者	・明石駅前の掲示板に「特典付き花・食巡り 1 day 切符」の社会実験 PR ポスターを掲示 ・明淡商店街の HP において、昼・夕・夜の航路の魅力を発信 https://www.akashi-meitan.com/cycling-fune.html
	③イベントや GW 等の多客期における航路利用の促進	●高速道路の渋滞が予想される GW 等の多客期における航路利用の促進 ・淡路市花火大会などでの航路利用の呼びかけ ・GW など陸上ルート混雑時の航路利用の呼びかけ	・航路利用の呼びかけ方法の検討	・観光協会・旅客船事業者 ・イベント実施事業者	・パソナグループが運用しているウェブサイト「淡路島西海岸」において連休時の航路利用を呼びかけ https://awajishima-resort.com/awaji-gwplan/
(2)明石～岩屋航路の“観光航路”としての魅力の創出	①“観光航路”としての魅力の創出	●淡路島北部地域の観光施設との連携 ・観光施設におけるイベント等と連携した企画切符、スタンプラリーなどによる誘客 ・既存セット券(花・食巡り 1day 切符)の PR 強化 （継続的な PR の実施） ・岩屋港周辺で楽しめる観光スポット、飲食スポットの創出、岩屋港周辺観光施設の PR	・旅客船事業者や観光施設との連携・調整	・旅客船事業者・観光施設 ・バス事業者	・淡路島北部施設の観光施設、宿泊施設及び飲食店等と連携し、「特典付き花・食巡り 1 day 切符」の社会実験を実施
		●観光案内の船内放送等の実施 ・船内テレビや船内放送、スマートフォン（二次元コードからの読み取り）などを活用した観光案内やバス乗り場案内の放映(土日祝)	・観光客と通勤・通学利用者とのニーズの違いを踏まえた対応	・旅客船事業者	

基本方針	活性化の方向性	活性化方策(青文字は今回追加した方策)	活性化方策の実施に向けた課題･動向	実施主体	進捗状況
		●外国人観光客への案内情報の充実 ・多言語による案内情報の充実		・旅客船事業者・自治体 ・観光協会	
	②航路利用による特典の充実	●淡路島側での特典充実 ・観光施設や飲食店等の割引サービス付き乗船券などの創出	・旅客船事業者・観光施設・飲食店との連携・調整	・旅客船事業者・商工会 ・観光施設・飲食店	・淡路島北部施設の観光施設、宿泊施設、飲食店等と連携し、「特典付き花・食巡り 1 day 切符」の社会実験を実施
		●明石側での特典充実 ・地元商店街での買い物・食事で運賃割引 ・地元商店街イベントの景品等としての乗車券の発行	・旅客船事業者と地元商店街との連携・調整	・旅客船事業者 ・地元商店街	・グランドニッコー淡路が、「海峡のまち」明石散策プランとして、魚の棚商店街周辺の店舗で利用できる特典クーポン（もぐチケ）付き宿泊プランを販売
	③ツアーにおける航路利用の促進	●航路(既存ダイヤ)を利用したツアーの創出 ・明石海峡大橋を見るツアー・明石駅周辺のホテルのオプショナルツアー ・ふるさと納税の返礼品としてのツアー・小中学校の遠足、課外活動、など	・魅力的なツアーの造成	・旅行会社・旅客船事業者 ・観光協会・小中学校	・明淡商店街の HP において、橋を見上げるミニクルージングの魅力を発信 https://www.akashi-meitan.com/cycling-fune.html
(3) 岩屋 PT 発着バスの利便性向上	①岩屋 PT 発着バスの案内情報の改善	●バス発着場所、バス路線の案内充実 ・岩屋 PT 内における分かりやすいバス乗り場の案内情報の掲示 ・主要観光地とバス路線の繋がりが分かる情報の提供 ・岩屋 PT 発着のバス時刻表案内チラシの作成、など	・観光客目線での情報提供 ・岩屋 PT 施設管理者との協議・観光案内所との連携・岩屋 PT バス乗り場整備では、シャトルバス乗り場の分かりやすさ	・自治体・観光協会 ・バス事業者	・現在の岩屋 PT バス停は仮設運用（令和 6 年度中を予定） ・案内表示は、今後とも担当課と協議予定
		●明石港における岩屋 PT 発着バスの案内 ・岩屋 PT バス乗り場の事前案内・乗船便に連絡するバス便の事前案内 ・デジタルサイネージの活用	・(4)-③明石港の待合室の整備改善との連携	・観光案内所 ・旅客船事業者	
	②岩屋 PT 発着バスの運行改善等	●岩屋 PT 発着バスの運行ダイヤの見直し ・航路便から乗継しにくいバス便の運行ダイヤの改善	・岩屋 PT に合わせたダイヤ見直し、航路のコロナ前のダイヤに戻すのは難しい（原油高騰、船員不足など）	・バス事業者・旅客船事業者 ・自治体	・早朝便の設定（令和 6 年度実証実験、しづかホール前～岩屋 PT 間）
(4) 明石～岩屋航路の利便性の向上	①運賃支払い方法の見直し･改善	●IC カード、電子マネー等の取り扱い改善 ・窓口で利用可能な電子マネーの種類の増加・券売機での IC カード等の利用可能化・船舶への IC カード等の読取機の設置 ・1day 切符の電子化	・利用可能な電子マネーの種類の増加については、現在、旅客船事業者にて検討中	・旅客船事業者	
	②運航ダイヤの見直し･改善	●明石～岩屋航路の増便 ・観光客の多い多客期の増便・平日も含めた夜間便の増便	・航路のコロナ前のダイヤに戻すのは難しい（原油高騰、船員不足など）	・旅客船事業者	・連休等の繁忙期において、増便を実施
		●自転車・バイクの積み残し防止 ・自転車・バイク乗船の予約化（予約システムの構築） ・利用の少ない便(明石港発の午後便など)への誘導	・予約システム構築の体制作りが必要	・旅客船事業者	
	③明石港の待合室の整備改善	●待合室の整備改善 ・トイレなどの設備改善・観光案内情報コーナーのレイアウト変更 ・岩屋 PT からの移動手段の事前案内	・トイレの整備や観光案内情報コーナーのレイアウト変更などのための予算確保	・旅客船事業者・観光協会	
(5) 明石～岩屋航路と高速バスの連携強化	①航路と高速バス利用のモデルコースの設定	●航路と高速バスを利用するモデルコースの設定 ・(1)～(4)の活性化方策の取組を踏まえたモデルコース設定	・航路と高速バスと観光施設との円滑な移動確保が必要・航路の魅力の発信	・観光協会・旅客船事業者 ・バス事業者	

※「アフターコロナを見据えた明石～岩屋航路の新たな活性化策を探る調査業務報告書」の詳細は、国土交通省神戸運輸監理部のホームページの下記 URL に記載している。
https://wwwtb.mlit.go.jp/kobe/barrierfree/index_00001.html

7．総括

7.1　明石～岩屋航路の高付加価値化の社会実験の検証

（1）当該航路に関する情報発信状況

・令和 4 年度調査において、「淡路島への移動手段は主として高速バスが案内されている。」、「明石～岩屋航路があることを知らないと、航路案内にアクセスできない。」ことが課題として抽出した。

・この課題に対し、淡路夢舞台、淡路グリーン館、ニジゲンノモリなどのホームページにおいて明石～岩屋航路の情報を掲載、淡路ジェノバラインの SNS(X)において船上からの景色等を随時情報発信するなど、明石～岩屋航路の認知度向上のための取組を行った。

（2）1day 切符販売状況

・1day 切符は、高速船&あわ神あわ姫バス 1 日乗り放題セット乗車券で、ジェノバラインの明石営業所にて販売、料金は、大人 1,540 円、小児 770 円で、通常価格の 3 割引となっている。

・1day 切符の販売枚数は、令和 4(2022)年度は 989 枚で 82 枚/月、令和 5(2023)年度は 1 月末までで 1,076 枚で 110 枚/月と、新型コロナ禍の影響が弱まり、販売枚数は年々上がってきている。

（3）社会実験の取組に関する検証

①社会実験期間中の 1day 切符販売

・12 月～ 1 月の 1day 切符販売枚数は、今年度は 176 枚で、令和 4 年度の 4.3 倍と大幅な増加となった。

②社会実験期間中の情報発信

・明石港をはじめ観光施設などに配置したチラシ・ポスターやホームページ等での PR の展開が、特典付き 1day 切符の認知に大きく貢献した。一方で、視覚的な情報を目にする機会がないと伝わりにくいことが分かった。

③社会実験の取組の検証

・1day 切符利用者の多くが「船旅が良かった」「バスの旅が良かった」と回答しており、明石～岩屋航路やバスそのものが旅を満足させる要因となっている。

・特典サービスの利用は 4 割程度であったが、特典サービスの付与が、1day 切符の利用を促進させたと推察される。

・特典付き 1day 切符の改善点としては、切符購入方法の充実（スマホやネットの活用）、2 日間使える切符、英語案内など案内情報の充実、特典サービスの充実、バス運行本数の充実があげられている。

・協力施設からは、約 3 割が「参加してよかった」、約 3 割が「あまり良くなかった」との回答があったが、同様の企画には 6 割以上が「参加したい」と回答している。改善点としては、実施時期、PR 方法などがあげられている。

（4）高付加価値化の改善方策の提案

・高付加価値化の改善方策については、今回の社会実験から得た知見を踏まえ、下表に示す提案を行った。

表７－１　航路及び 1day 切符の高付加価値化方策の提案

項目	社会実験からの知見	提案概要
①1day 切符販売枚数の増加方策	・販売枚数の増加は、今回の航路の高付加価値化によるものと考えられる。	・交通事業者をはじめとする関係者での適切な PR の継続的実施
②航路及び特典付き 1day 切符の認知方法の改善	・今回の情報発信の強化の取組が、航路の認知度向上、1day 切符の認知に大きく寄与したと考えられる。	・視覚的な情報を目にする機会の創出 ・明石駅前や明石港等における PR の充実
③航路及び特典付き 1day 切符の満足度向上のための方策	・明石～岩屋航路が旅を満足させる要因となっている。 ・岩屋港～道の駅付近に観光めぐりする人が比較的多い。 ・特典サービスの付与が 1day 切符の利用を促進させると推察される。 ・特典サービスの充実、スマホ・ネットでの切符購入、切符運用日数の延長、外国語案内などの充実などの改善意見があった。	・「船旅の良さ」と岩屋港周辺観光施設の PR ・岩屋港周辺で楽しめる観光スポット、飲食スポットの創出 ・特典サービスの付与等、1day 切符の高付加価値化の継続 ・特典サービスの充実、スマホ・ネットでの切符購入、運用日数の延長、外国語案内は、実施しやすいものから改善実施 ・利用者目線の魅力的なモデルコースの作成
④取組の協力体制の構築・強化	・特典サービスの協力店舗は 46 店舗、各関係者の協力により、ホームページや SNS での情報発信、チラシ・ポスターの配布を実施した。	・検討委員会メンバーや協力店舗等多様な関係者との連携 ・特典付き 1day 切符などの実施時期、PR 方法の改善
⑤社会実験の検証結果を踏まえた観光情報の発信	・淡路観光や 1day 切符利用に対する高評価があった。 ・英語案内の増加、観光の PR の充実などの意見もあった。	・高い観光地ポテンシャルを活かした航路と観光の情報発信強化 ・多言語案内情報の充実

7.2　今後の明石～岩屋航路の確保・維持に向けて

（1）航路の確保・維持に向けた基本認識

・今後の明石～岩屋航路の確保・維持に向けた基本認識は、次のとおりである。

① 明石～岩屋航路は淡路島島民に必要不可欠な交通手段であるとともに、島民の生活水準の向上に寄与するものである。
② 淡路島内の人口減少により、航路の通勤・通学等の日常的な利用者の減少が見込まれる中、今後も航路を確保・維持するためには、淡路島に訪れる観光目的の利用者を増加させる必要がある。
③ このため、明石～岩屋航路の確保・維持のために、地域の関係者が連携し、本調査で提案した活性化方策を「実現可能なところから実施」を図っていくことが望まれる。

（2）航路の活性化方策の推進方向

・航路の確保・維持を図るために、本検討委員会メンバー等の地域の関係者が積極的に取組やすく、かつ取組優先度の高い方策を進めていくことが望まれる。

・特に、今回の特典付き 1day 切符の社会実験結果を踏まえると、

- 特典付与などの高付加価値化の継続的な取組の実施
- 航路の魅力（船旅の良さ）を伝える情報発信、外国語案内の充実、モデルコースの提示など多様なニーズに対応できる情報発信の工夫

を進めていくことが重要となる。

・これらの活性化方策を推進していくためには、

- 今後とも検討委員会メンバーを中心に地域の関係者が連携して、相互に協力し役割分担を図りながら、活性化方策を実現していくこと
- 淡路島の活性化に携わる地域の関係者に本調査で提案した活性化方策を広く周知すること
- 活性化方策の周知のため、調査結果の要点（72～73 頁）を検討委員会メンバーの所属組織のホームページ等へ掲載することや関連会議等の開催などの機会を利用した紹介などが望まれる。